

# 地方開催の歌留多大会報道記事

大正編 1~31

## 新聞切り抜き

忠実に記事を書き写しました。不明の文字は○または……で表示する

### 大正時代編

大正2年1月17日 北海タイムス

#### 北海歌留多會

十八日午後五時より小樽稲穂町大通り中央俱樂部に於て北海歌留多會上の句會を開催し優秀者に夫々賞品授與の筈

大正2年1月20日 北海タイムス

#### 小樽かるた大會

十八日小樽花園町大通り旗亭千鳥に於て開催せる千歳俱樂部主宰の下の句かるた大會は各選手一勝一敗互に鎬を削り結果左の如く決定し我社のかるた及び毎夕社のメタル授與されたり一等太田、丸中、星野、中谷、西多 二等川瀬、三宅、長尾、前田、渡邊 三等宮川、前川、佐藤（徳）稻村、佐新四等奥村、山田、佐々木、青木、古田 五等石井、中村、富田、外崎、神原尚各組選手決戦に一等稻村（英）二等中川（決）三等榎原（千）なりき

○  
大正2年1月28日 北海タイムス

#### 浦幌歌留多大會

本社特置員主催の浦幌歌留多大會は二十五日午後六時を期し停車場前なる美濃屋旅館階上に於て開催來曾者無慮六十餘名有志諸氏並に各商店の寄贈品等多數あり本社寄贈メタルは熊谷タマノ氏鉄新寄贈メタルは三浦辰雄氏に歸し千秋樂は午前一時尚福引等の催しあり盛會を告げたり（浦幌通信）

大正2年1月30日 北海タイムス

#### 小樽かるた會

來月一日午後三時より小樽稲穂町中央俱樂部に於て大競技會開催の筈なるが参加希望者は三十一日迄に花園町大内法律事務所へ申込まれたしと

○  
大正2年1月30日 北海タイムス

#### 盛な歌留多會

去る廿五日俱知安旗亭秀清樓々上に於て開催せるかるた大會に出席の各會員は岩内よりは吉野俱樂部當地は秀清、突撃、車輪各俱樂部員五十有餘名右人員を三人一組となし午後六時より競技に入り數回會戦の後曉星青天、若葉、決誠、飛龍各組員決戦となり飛龍組一等を占め各商店よりの寄贈品は同組の手に落つ時に午前三時夫より當夜の眼目たる前記四俱樂部員の責任競技に移り秀清の松田菊地羽根及川森突撃の吉田塚原島崎千之石川車輪の岡川木村伊井辻岡部吉野の高橋清水澤井外二名の各選手は火花を散し戦ひたる結果車輪俱樂部一等を占め本社寄贈の金牌は同俱樂部の手に歸し無事散會せしは午前五時中々に盛況なりき（支局報）

大正2年2月4日 北海タイムス

#### 小樽歌留多大會

小樽第九回歌留多大會は一日午後四時より稲穂町中央俱樂部に開催參集の各團体は決誠、小倉、浪速、筑波、高砂、大正、立憲山力（余市組）等にして隅田芙蓉の欠席ありしも山力余市組は態々來樽殊に女軍の列席もありて各選手意氣込荒く頗る盛會を極めたるが定刻四時第一回は各五名の選手にて結果左の如し（△印勝）

△決誠（七枚）浪速 △山力（四枚）立憲 △小倉（十枚）高砂 △大正（十一枚）筑波

第二回は先づ浪速筑波の手合せあり奮戦半ばにして浪速優勢となり意氣倍々揚り二十枚の差にて遂に浪速の勝利となり第一回に決誠に胴膽を抜かれたる恥を雪ぐ次に決誠大正の勝負に移り十一枚の差にて決誠の勝となる次は高砂立憲の顔合せ五枚の差にて立憲の勝次は小倉と山力余市組の手合せ奮激突撃余市組稍優勢を示し居りしが小倉五分通り敵の動静を覗ひモウ宣時分と申合せし如く攻勢を進め瞬く間に散々敵陣を碎き最後三十五枚の差を以って小倉の勝利は大手柄なりき是より板倉山田阿部長崎阪井の顔触れにて混成團を組織し筑波と開戦し

たるに美事三枚の差にて混成勝を占め續いて高砂と手合せ七枚の差にて高砂に勝たれたり爰に於て筑波棄権し小倉決誠の勇退となり第四回に移り第四回及其後の勝負左の如し  
△浪速(四枚)立憲 △山力(十枚)混成 △大正(九枚)高砂 △次は第五回△立憲、高砂  
△浪速、混成 第六回△浪速(六枚)大正 △小倉(十枚)決誠 △立憲(九枚)山力 第七回は  
△小倉(九枚)大正 △決誠(一枚)山力 △浪速(五枚)立憲 第八回は山力(二枚)大正△決誠  
(十二枚)立憲 第九回△小倉(九枚)決誠 第十回△小倉(十八枚)浪速  
閉會せるは二日午前六時にて賞品を授與されたるは一等小倉我社支局より寄贈の銀メタル及  
決誠より寄贈のかるた一組外同曾の賞品二等浪速三等決誠四等山力五等大正等近來稀らしき  
盛況なりき

大正2年2月16日 北海タイムス

### 月形の歌留多曾

既報の通り十一日午後六時より福田館に開催参加人員六十八名猛烈なる競技をなし散曾した  
るは翌晩六時頗る盛曾なりき(月形通信)

大正2年2月16日 北海タイムス

### 増毛歌留多大曾

十日午後五時より潤澄寺に於て青年曾主催の歌留多大曾開催曾員八十餘名勝者には賞品を授  
與し茶菓瓣當の饗應あり餘興として福引等あり參觀者新聞記者其他多數盛曾を極め午後十二  
時頃散曾せり

大正2年2月17日 北海タイムス

### 廣島の歌留多曾

紀元節の佳日をトし小平、渡部、讚岐、原田四氏發起にて午後六時より佐々木ホテル樓上に  
於て開催來曾者二十餘名頗る盛大なりき(廣島通信)

大正2年2月17日 北海タイムス

### 濱益の歌留多曾

八日濱益青年曾公曾堂に於て開催當日午後六時より競技開始翌午前貳時閉曾來曾競技者數拾  
名參觀者等多數にして極めて盛大當日技量優秀なる者には北海タイムス社より名譽金牌寄贈  
せられたる旨を告げ各自腕を撫し意氣天を衝くものあり愈々競技に遷るや全員五部より成り  
立ちて五組即ち潮路俱樂部明石俱樂部芦風組時雨俱樂部白帆組等各數番の對抗競技後各組撰  
出の選手鎧を削り場内活氣満々たり先づ三人抜き競技は潮路對明石にて潮路の主將本間暁星、  
明石の將(一宮華烟)次て白帆の將(町野藻花)を破り時雨の將(今、北斗)の為に破れ(今北斗)  
芦風の將吉田力に對するや美事六枚の敗に終り續て潮路の本間明石の一宮が繁輝一番對抗せ  
しも芦風の吉田には敵し得ず當日の優勝者は芦風の猛將吉田力にして萬歳聲裡の中に閉了せ  
り(濱益通信)

大正2年2月18日 北海タイムス

### 苦小牧歌留多曾

去る八日午後六時より苦小牧谷川亭に於て管内各有志歌留多競技曾あり翌九日午前五時個人  
優勝者競技に於て第一等追分紅葉組鳴海第二同上芝田第三苦小牧松田にて九日午後五時閉了  
盛曾なりき(苦小牧通信)

大正2年2月19日 北海タイムス

### 雨龍の歌留多曾

十一日上市街地住友方に於てスクール春雨蜂須賀雨龍の各俱樂部の一團三十五名互に妙技を  
振ひて競技し非常の盛曾にて夜の更るを知ず最後の選手戦にスクールの鳥山雨龍の高木氏優  
勝の榮譽を荷へり(雨龍通信)

大正2年2月22日 北海タイムス

### 士別の歌留多曾

去る八日午後四時有志發起となり士別第二回歌留多大曾を東雲湯樓上に開催集まる者二十五  
名盛況にて散曾せるは九日午前七時此日一等の榮譽を荷へるは松田氏二等高橋氏三等正岡氏  
四等木山氏審判者は渡邊麗月君なりし(士別通信)

大正2年2月22日 北海タイムス

### 本日の歌留多會

既報の如く札幌紅葉會主催歌留多大會は愈々本日午後六時より大通り旗亭松月に於て開催の筈地方よりの申込も續々あり各商店よりの寄贈賞品左の如し因に競技券は當日會場にても發賣する由

鉛筆十打濱田家畜病院▽書籍廿冊キリン俱樂部西海持段治▽手帳一打バラ歯磨三打吉川商店▽懷中日記廿冊高貴堂▽懷中日記廿冊維新堂▽東京朝日新聞購讀券廿枚中原新聞店▽水筆五十本入場券二百枚大畠商店▽中折帽一調小柳自転車店▽クリーム五個横山靴店▽片栗五本サラシアン五本山下商店▽新聞購讀券十枚札幌毎日新聞社▽新聞購讀券十枚小樽毎夕新聞▽安全カミソリ五個發明界▽旭豆五個片山支店▽中判寫眞券二枚上野寫眞館▽カステーラ五個菴屋菓子店▽鉛筆二打長谷川商店▽バラ歯磨百袋札幌同盟會▽繪葉書十組三井物産札幌挽材所岩村和平▽ビール四打大日本麦酒株式会社札幌支店▽風呂敷二打角萬大槻商店▽タヲル一打中山廣昇堂▽○札寫眞券三枚青木寫眞館▽同二枚榎本寫眞館▽同二枚武林寫眞館

大正2年2月22日 北海タイムス

### 浦幌の歌留多會

去る六日山形本店宅に開催來曾者無慮二十餘名盛況又八日吉川旅館に於て開催來曾者三十餘名盛況なりき（浦幌通信）

○大正2年2月24日 北海タイムス

### 札幌歌留多合戦

既報の如く札幌紅葉俱樂部主催歌留多大會は一昨日午後七時松月亭に於て開催せられたるが各派出場撰手紅葉(花組)(實組)松月、白浪、不二ノ(天組)(地組)(人組)ポスト(S組)(P組)突破の(突組)(破組)松ヶ枝、梅ヶ枝(岩見澤)翁混成組夕凧(轟組)(響組)(光組)の十八組を以て開戦となりしが應援觀覧者二百數十名に達し各派奮戦の結果優待紅葉(花)松が枝、混成、梅が枝、夕凧(轟)同(光)同響突破(突)、翁の各派を出し夫より又々各派數組の奮戦ありて順次優待に數組出でゝ第八回の大競技行はれたりしが翁曾少年組の奮闘尤も目覺ましく大堀選手の手際には各派選手も感嘆の態なりしが少年組のことゝて遂に力盡きて敗戦したるは残念に見受けられたり紅葉(花組)又劣らぬ有望組なりし最後大競技の結果夕凧(轟)混成、紅葉(花組)夕凧(響)の四組入賞競技となり時既に翌午前八時最後の勝負にて混成組、西海持、持札五枚對夕凧飛田持札(末の松山)一枚となり奮闘三枚に仕上げたるも夕凧方持札出でゝ混成の敗となりしほとぎ勝負なりき結局夕凧(轟)一等、混成二等、夕凧(響)三等と極まり我社寄贈のメタル並に各商店の寄贈品を授與したり最後入賞勇士夕凧轟組は飛田(小樽桜庭)小國、村上、追分選手某、混成組は西海持、長尾、村田、金川、工藤の諸氏にして入賞と目され紅葉、梅が枝の敗戦は惜しかりしと

大正2年2月25日 北海タイムス

### 敷生の歌留多會

去る十八日午後六時より敷生東郷館に於て開催各選手數十名妙技を振ひ非常の盛會にて十九日午前二時散會せり（敷生通信）

大正2年3月13日 北海タイムス

### 追分の歌留多會

来る十五日追分俱樂部に於て三笠會主催膽振國歌留多競技大會を催す由にて膽振全國各撰手及び札樽岩夕より參曾者ある筈なれば定めし盛況なるべし（追分通信）

大正3年1月15日 北海タイムス

### 鐵道かるた大會

鐵道管理局員より成る札幌鐵道職員俱樂部員は来る十七日午後正正時より鐵道集會所樓上に於て新年かるた大會を開催する筈にて左の如く規約を設けて發表したり

△曾費5錢△競技方法二人宛組合せ勝抜き方法に由る再權なし△茶菓の饗應あり△かるた札は百人一首標準かるたにして上の句取り△本大會は鐵道職員ならば男女を問はず出席し得るものにて既に數十名の申込あり新加入者は今十五日中に大會幹事なる本局庶務課後藤法學士迄申込むべし尚俱樂部には標準かるた六組を備付けあるを以て會員は何時にも隨意に使用するを得べしと

大正3年1月17日 北海タイムス

**雄武村の歌留多大曾**

七日東陽寺に於て開曾來曾者二十六名午後一時より數十番の競技後選手の競技となり秋山嬢優勝小樽新聞社寄贈のメタル其手に歸し同十時盛況裡に散曾せり（雄武通信）

大正3年1月17日 北海タイムス

**白老各村歌留多大曾**

去る九日午後二時より敷生嵐曾主催の白老郡歌留多大曾開催各村の選手數十名來曾近來になき盛況にて散曾せしは翌十日午前三時なりし（白老通信）

大正3年1月20日 北海タイムス

**目覺き歌留多曾**

小樽千歳俱樂部主催の歌留多大曾は十七日午後十時より花園町千鳥に於て開催翌朝六時閉曾せしが激戦目醒きものあり競技總人員は八組四十人にして決戦の結果一等小倉二等浪速三等芙蓉四等高砂五等千歳我社寄贈の銀牌は小倉の手に歸せりと

大正3年1月25日 北海タイムス

**江別歌留多大曾**

十七日札幌郡江別町敷島樓に開催の歌留多大曾は戦士の集合三十三名札幌よりも紅葉俱樂部出陣し茲に大競技となりたるが江別の各團體も猛烈なる大奮闘にて午後九時より翌日午後三時迄白兵戦をなし左の結果を示して休戦せり（江別通信）  
▽一等江別大正組、二等札幌一松組、三等江別大正麒麟組、▽個人競技 一等江別谷野、二等札幌近嵐、三等同舞田

大正3年1月28日 北海タイムス

**歌留多曾たより**

各地に於ける歌留多大曾の模様を聞くに▼磯谷 村大字島古丹の有志は十六日喜樂亭に開催し盛曾なりしと近日更に開曾すべしと▼妹背牛 雨龍郡の同地にては來月七日午後五時より市街地玉寶軒に於て雨龍外三郡聯合選手大曾を主催すべく競技は五人一組にて下の句取りとし曾費三十錢なりと申込は二日限り▼岩見澤 梅ヶ枝俱樂部主催の第九回大曾は來月七日午後四時より旗亭紅葉亭に開催競技方法は従前の通りにて三日までに曾費五十錢を添へ伊東内科療院に申込むべしと▼入舸 十六日午後四時より小學校に開催三十六名の出席あり小寺組優勝せりと▼余市 大川町尼子氏主催のかるた大曾は二十四日開催小樽銀山然別等より参加多數ありしと▼帶廣 の大曾は二十五日夜停車場前美濃屋跡にて開催止若池田釧路方面より選手加はり頗る盛曾なりしと▼栗山 二十四日夜郵便局樓上に於て開催追分清眞布よりも戦士出場都合卅七八名にて追分對栗山は追分の勝となり盛況裡に散曾せり

大正3年1月31日 北海タイムス

**歌留多曾たより**

各地に於ける加留多曾のその後の模様を聞くに▼止若 住の江曾主催第五回大曾は二十四日午後六時より青葉亭に開催地方よりは釧路池田本別陸別帶廣猿別等の團體三十二名來曾するあり松竹梅の三部に分ち競技開始松の組一等は釧路長倉肇竹の組一等池田小笠原梅の組一等池田高妙曾と審判され優勝旗は釧路組の獲るところとなれりと▼余市 沖村二葉曾主催の大曾は二十六日同曾事務所に開催したる筈詳細は再報せん

大正3年2月4日 北海タイムス

**歌留多曾たより**

各地に於ける歌留多大曾の模様は▼札幌 浪人俱樂部主催の大曾は一日午後二時より大通西二丁目大福亭に開催櫻島混成パンカラ霧島淺間の各團體の來曾申込ありパンカラ淺間霧島の三組優待に入り決戦の結果一等霧島二等パンカラ三等淺間と審判さる▼名寄 市街地有志の發起にて二十六日午後六時より大通小北木工場事務所樓上に開催約五十名の參集あり競技は團體個人の二種とし中々の盛況なりしと▼浦幌 我社通信員山義氏主催の大曾は二十八日午後六時より美濃屋旅館に開催數十名の來曾あり梅組美成號優勝なりしと

大正3年2月6日 北海タイムス

### 全道歌留多大曾

キリン俱楽部主催歌留多大曾は来る十一日の佳節に札幌狸小路山福印本店にて第五回開催當日は小樽、岩見澤、余市、江別、追分、旭川等の選手出陣し札幌よりは紅葉、夕凧、翁、ポスト、富士、札音、松ヶ枝、キリンの各選手外に個人の申込も多數なれば定めし昨年に優る大盛會ならんと因に曾費は四十錢競技方法は下の句五人團體一組（個人にて申込むも宜し）にて補缺は絶対に許さず正午後二時開曾に付地方選手も當區選手も時間を誤らざる様出場ありたしと本社山口氏は純銀メタル五個寄贈せりと

大正3年2月13日 北海タイムス

### 歌留多戦

既報の如く札幌キリン俱楽部主催全道歌留多大曾は十一日午後四時半より狸小路山福本店にて開催組數は芙蓉、晃樽、將星、梅ヶ枝、大正、大正キリン、霧島内噴火、同爆發、翁一、同二、札幌キリン、荒浪内香取、同香島、富士、美芳野、混成、紅葉（實）同（花）夕凧（轟）初聲の二十組にて、第一回に棄権となりたるは荒浪の香取、香島、翁の一、二、紅葉の花、混成の六組残り十四組の中一勝一敗の富士、霧島の爆發、江別の大正、美芳野、キリン、霧島の噴火の六組の勝敗となり爆發、大正、噴火は優待に入り都合十組の二勝優待となり又々競技の結果噴、爆の二組棄権次で優待中の一勝一敗となれる芙蓉對大正キリンは芙蓉勝ち、紅葉對梅ヶ枝は梅奮闘するも紅の敵に非ず廿一枚對一枚となり梅の仁科強敵紅の荒井を置き七枚を仕上げたれど遂に紅の勝となり次は將星對大正なりしが此勝敗は双方共實に目醒ましき奮闘にて將星の敗となりしは殘念、次は大正と紅葉九枚を残して紅の勝、夕凧と芙蓉は七枚を残して夕の勝、大正と芙蓉は十枚を残して大正の勝と極まり、此處にて入賞は四組となりて、抽籤の結果大正と夕凧二十二枚を残して夕凧の勝晃樽と紅葉は三十枚を残して晃樽の勝斯て最後の決戦となり將に翌午前七時を過ぐる十分晃樽を夕凧攻手守手の千變万化の秘術は火花を散らし夕凧七枚晃樽一枚となり當日の月桂冠は小樽の晃樽二等は札幌夕凧と確定したり紅葉と大正は十四枚を残して紅葉の勝となり三等札幌紅葉四等江別大正と極り各商店よりの寄贈品を授與して萬歳聲裡に閉曾せしは十二日午前八時三十分なりし尚其後の寄贈品左の如し 黒水牛認印三個、札幌毎日新聞社購讀券十枚

大正3年2月19日 北海タイムス

### 歌留多たより

各地に於ける加留多曾の模様を聞くに▲月形 かるた曾第六回競技曾は十日夜権月館に開催六十八名の參集あり優勝の團體は芙蓉俱楽部紅葉の小鹽村雨の板谷決戦は小鹽の勝▲妹背牛七日玉寶軒に聯合大曾開催の筈なりしも都合にて十三日夜に變更各地よりの出場多數大活戦なりしと▲追分 紅葉曾主催の大曾は追分俱楽部に於て十四日開催札幌江別岩見澤清眞布栗山室蘭紅葉山夕張より選手多數参加し盛會なりしと▲増毛 青年曾主催の大曾は七日夜山一樓に開催六十四名の選手出場競技の結果一等増毛コンプロ組以下六等迄にて盛況を呈せりと

大正3年3月15日 北海タイムス

### 江別の歌留多曾

江別大正俱楽部にては来る廿一日（春季皇靈祭）午後三時より旗亭醉月に於て同地本年第二回歌留多大曾開催幹部連は今回は規模を改め大々的に競技をなす由にて夫々準備中曾費は四十五錢にて競技方法は五人一組なるも個人にて申込むも差支なく申込所は江別山十まんぢう屋なりと

大正3年3月24日 北海タイムス

### 虻田村の歌留多大曾

去る十五日午前十時より虻田宝藏時に於て有珠虻田辯邊三ヶ村有志聯合歌留多大曾舉行接戦二十回に亘り最後の選手内田若狭（虻田）小阪丹野（有珠）酒井池上（虻田）美馬菅原（有珠）の二組共有珠隼俱楽部の連勝に歸し午後五時散曾赤飯等の饗應ありたり因に次回は五月節句開催すべしと（虻田通信）

大正3年3月26日 北海タイムス

### 江別歌留多大曾

既報の如く去二十一日午後三時江別町旗亭醉月に於て大正俱楽部第二回歌留多大曾開催參曾

者十二組競技の結果一等（岩見澤梅ヶ枝）伊東、仁科、清水、布施、兼田二等（江別大正）伊藤、我妻、木村、角入、仁田三等（札幌札將）荒井、平野、表、兒島、矢野トと極まり翌日午前八時有志よりの寄贈品を分與萬歳を三唱して散會せりと

大正4年1月10日 北海タイムス

**留壽都歌留多大曾**

虻田郡眞狩村字留壽都にては来る十六日午後五時より妙心寺に於て留壽都芙蓉俱樂部主催にて歌留多大曾開催に決し目下準備中なるが當日は俱知安狩太眞狩別方面よりの來曾者ある由にて競技方法は上の句下の句の二種に分つ筈なりと

大正4年1月16日 北海タイムス

**網走歌留多曾**

十六日午後二時より網走町北盛亭に於て新沼野坂余田氏等發起となり歌留多曾開催曾費五十銭にて晚餐を供し賞品をも呈する由なり（支局報）

大正4年1月16日 北海タイムス

**戸井歌留多曾**

龜田郡戸井村日下部氏主催の歌留多曾は九日午後六時より字館鼻に開催各地よりの選手出席する者多く激戦數十回近來の盛曾を極め翌午前二時散會せり（戸井通信）

大正4年1月16日 北海タイムス

**増毛歌留多曾**

九日午後五時より増毛運送株式会社に於て増毛町青年曾主催の歌留多曾開催留萌別荘地方よりの來曾者あり總員七十五名參觀者六十餘名競技練習其他餘興ありて十一時より本競技に移り十組にて激烈なる競争となり一二等の賞與は來月開曾の時に授與のこととして停止三四五六等迄の賞品を授與し室内に賣店を設け瓣當の饗應あり盛曾にて翌午前七時散會せり（増毛通信）

大正4年1月16日 北海タイムス

**余別歌留多曾**

宇宙俱樂部發起の余別歌留多曾は九日余別旗亭山鱗内に開催隣村地方よりの來曾者あり出席者約百名内外にて中々の盛曾にて一等賞は宇宙俱樂部の手に歸したり（余別通信）

大正4年1月19日 北海タイムス

**一巳歌留多曾**

去る七日午後一時より岸上松南氏方に催され曾衆二十餘名一巳敷島茶目大和國民早稻田の各俱樂部火花を散して決戦一等は國民俱樂部の三谷孤村氏の占むる所となれり

大正4年1月19日 北海タイムス

**宗谷歌留多曾**

去る三日午後十時より宗谷旭館に於て芙蓉組主催の歌留多曾開催曾するもの八十餘名字利矢古丹方面より選手の來曾あり盛況を極め畢つて大懇親曾を開き散會せしは夜半一時頃なり（宗谷通信）

大正4年1月19日 北海タイムス

**十勝歌留多曾**

來る廿三日帶廣亭に於て開催の由

大正4年1月20日 北海タイムス

**野付牛の歌留多曾**

去三日午後六時より市街公衆俱樂部に於てつらぬき曾氣走曾の選手三十餘名より成る歌留多曾舉行各選手健闘數十番徹宵散會せしは翌午前三時優勝者は早乙女誠氏にて次曾は二月十日前後再開の豫定なりと

大正4年1月22日 北海タイムス

**盛な歌留多戦**

虻田郡眞狩村字留壽都にては既定の如く十六日午後五時より大野旅館に於て芙蓉俱樂部主催歌留多大會開催來曾者數十名頗る盛曾散曾せしは翌朝午前六時當日の優勝者は下の句壱等賞藤田三男二等賞西堀陽上の句壱等賞橋本俊秀小樽二等賞大野純喜にて引續き上の句高點取に移り一等賞金田豊秋二等賞大野純喜下の句高點取大野對竹森に大野純喜優勝を占め盛曾なりと（留壽都通信）

大正4年1月22日 北海タイムス

**妹背牛歌留多大會**

明廿三日午後五時より玉寶軒に於て歌留多下の句競技會開催遠征出場者は當日迄に申込まれたしと

大正4年1月23日 北海タイムス

**岩見澤 歌留多戦**

廿三日午後三時より岩見澤旗亭紅葉亭にて梅ヶ枝俱樂部主催歌留多大會開催すべく當日は札幌上川室蘭方面よりも多數の遠征軍あるべしといへば盛觀なるべし

○ 大正4年1月25日 北海タイムス

**札幌歌留多會**

既報の如く廿三日午後六時より札幌山福支店に於て本年初曾なる各俱樂部の手合せを為し出席俱樂部五人一組として十五組に達し各員の奮闘中一際目を引きしは創成俱樂部の濱田にて遂に敵を破り創成の勝を得たる時は場内も破れん計りの万歳を連呼され 一等札幌俱樂部Y組二、同S組三等紅葉（實）組四等札幌俱樂部K組五等創成（北）組 勝利を占め夫々賞品を受け二十四日午前六時散曾せりと

大正4年1月27日 北海タイムス

**勇しく振った岩見澤の歌留多大會**

梅ヶ枝俱樂部の主催第十回歌留多大會は豫期の如く廿三日午後五時より岩見澤町旗亭紅葉亭にて開催札幌、江別、夕張等の遠征軍八十餘名の多きに達し伊東泰助氏開曾の辭を兼て一場の所感演説を試み七時より競技開始かくて第一回戦は梅ヶ枝（薔）夕凪（札幌）の為めに梅ヶ枝（月）江別軍の為めに北光、電氣の為めに艶れ第二回戦江別、梅ヶ枝（薔）に電氣、梅ヶ枝（梅）梅ヶ枝（月）北光共に夕凪に敗れで棄權の魁をなし第三回戦梅ヶ枝（花）江別軍の為めに電氣梅ヶ枝（薔）に混戦各地撰手は夕凪及梅ヶ枝（薔）の敗るゝ處となり混成梅ヶ枝（花）相次で棄權茲に一、二、三、四等は梅ヶ枝（梅）同（薔）江別軍並に夕凪の争ふ所となりしが江別軍夕凪の為めに鈍くも敗衄梅ヶ枝（薔）亦梅ヶ枝（梅）の敗るゝところとなりて當日の月桂冠は梅對夕凪の争ふ所となれり千時鷄鳴巳に曉を報ずかくて少時休憩、愈龍攘虎闘の大活激こそ開始せられて夕凪の猛將飛田新井の兩氏尤も力戦したるも梅ヶ枝に於ては本道歌留多界に驛名を轟したる井澤、伊東の兩氏中堅となり攻守同盟敵をして乗せしむるの機會を與へず第一回戦は十八枚を残し第二回戦は六枚を残して夕凪の敗に歸し爰に樽新寄贈のメタル及一等賞は梅ヶ枝（梅）の得るところとなり二等夕凪三等梅ヶ枝（薔）四等江別軍と決定喝采場裡に閉曾午前六時散曾せり（支局報）

大正4年1月29日 北海タイムス

**夕張かるた會**

二月十一日夕張市街地にて全道かるた大會開催の筈當日は札樽旭各地の戦士來曾する由

大正4年1月29日 北海タイムス

**士別歌留多會**

既報九重俱樂部發起歌留多大會は廿三日午後七時より東雲樓上に開催會員二十四名出陣旭川上士別等より戦士來り一組三人にて九重二八大正明治雲井早稻田の數組に分ち二十餘回の合戦あり其結果左の如く翌午前四時散曾せり 一等旭川雲井組庄司外二名二等なし三等士別大正組渡邊外二名

大正4年1月30日 北海タイムス

**栗山かるた曾**

十二日午後六時より栗山郵便局樓上に於て栗山角田聯合かるた曾開催せしが斯道の猛者二十  
五名來曾角田組と栗山組との合戦は中々の見物にて結局栗山組の勝利となれり（栗山通信）

大正4年1月30日 北海タイムス

**古平歌留多曾**

一月十七日午後五時より既報の如く新地町津田方に於て歌留多大曾開催し來曾者三十餘名參  
觀者夥しく非常の盛曾にて三人組競技にては濱町組大水本間苦米地勝利を占め個人競技にて  
は五人抜き大水一等賞を得たり（古平通信）

大正4年2月1日 北海タイムス

**祝津歌留多曾**

来る二月六日高島郡祝津村青年曾カルタ曾を開催する由なり

大正4年2月3日 北海タイムス

**歌留多大曾**

来る六日午後六時より俱知安停車場前旗亭喜久代に於て全道歌留多大曾開催の由にて壽都黒  
松内狩太小澤岩内余市小樽札幌其他各地よりの入曾申込已に多く曾券發賣所は停車場小野塚  
茶店並寶田菓子店等なりと（支局報）

大正4年2月5日 北海タイムス

**増毛の歌留多大曾**

増毛町有志主催にて六日昇月樓に於て歌留多大曾開催すべく當日は盛曾なるべし（増毛通信）

大正4年2月7日 北海タイムス

**佐留太歌留多大曾**

門別歌留多曾主催の大曾は去月三十日午後六時より門別俱樂部に於て開催來曾者約六十名參  
觀者亦多く合戦勇ましく翌午前一時よりは各組優勝選手選出競技あり優勝者は小栗廣島明珍  
長谷工藤の諸氏にて最後の優勝者は門別俱樂部の廣島氏に歸し午前六時散曾盛曾なりき  
(佐留太通信)

大正4年2月9日 北海タイムス

**留萌歌留多曾**

留萌新聞社主催の留萌かるた大曾は六日午後五時より登喜和に催され沿岸各地よりの參加團  
体多く頗る盛曾なりし（支局報）

大正4年2月9日 北海タイムス

**森歌留多大曾**

青葉曾主催となり拾日午後二時より山加樓上に於て大曾を開催する筈にて曾費二十銭持參の  
同好の士は誰にても参加出來得る由既に團隊申込等多數あり當日は定めて盛曾を見るべし  
(森通信)

大正4年2月13日 北海タイムス

**敷生歌留多曾**

嵐曾主催の聯合歌留多大曾は舊臘六日午後五時より同村宍戸與一郎氏宅に於て開催競技方法  
は室蘭登別方面よりも來曾者多く激戦の結果一等室蘭白露の日組二等同麒麟三等敷生嵐曾の  
電組四等同龍組と決し引續き個人競技に移り最後の優勝は室蘭伊藤氏對敷生加藤氏にて遂に  
加藤氏の勝利に歸し七日午前九時散曾せりと

大正4年2月14日 北海タイムス

**歌留多大曾**

函館驛にては豫て鐵友かるた曾を組織し同區斯界の雄鎮たりしが愈々今十四日午後五時半より  
同區鐵道集曾所に於て大曾を催うす筈但し座席に限りあるを以て局外者の入場を許さず運  
輸保線機關庫工場船舶驛を合し百名以上の來曾者ある由なれば定めて未曾有の盛況を呈する

ならん

大正4年2月17日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

十一日創成俱樂部主催に係る全道歌留多大曾は既報の如く旗亭湖月に於て開催し参加競技者地方團体には小樽より晃樽月組雪組岩見澤より梅ヶ枝梅組蓄組追分の村雨等札幌は夕凧札幌Y組S組脱兎電外數組にて盛曾を極め競技の結果翌午前二時優待八組を出し愈々入賞戦に入り夕凧組對晃樽月組となるや夕凧の勢い當るべからず遂に廿七枚の差を以て夕凧最後の大勝利を博せり

大正4年2月17日 北海タイムス

**夕張歌留多曾**

十一日夕張市街地旗亭花月に於て全道かるた大曾開催一等初音二等雷三等月四等魁五等隼の成績なりしが選手競争に移りて一等初音二等雷の順序にて初音は十一組を倒し全勝を得たり  
(支局報)

大正4年2月19日 北海タイムス

**森の歌留多曾**

○豫報の如く青葉曾主催第一回歌留多大曾は十日午後四時より山加旅館に開催遠征軍は函館のむべ山曾員のみなりしも出席者六十餘名の多きに及び參觀者又多數副賞品寄贈も多數あり中々の盛況を呈し各自妙技を振つての合戦振勇ましく十二時小憩後各組選手の龍驤虎搏せる活劇を演じたる後優勝者は柴田港武藤の三名にて最後に右三氏の目覺しき競技あり遂に最後の優勝はむべ山曾の武藤氏の手に歸し午前一時半喝采裡に散曾せり (森通信)

大正4年2月20日 北海タイムス

**増毛の歌留多大曾**

六日午後五時より昇月樓に於て増毛青年主催歌留多曾開催各地方より競技者六十名來曾四人一組にて十三組一等麒麟二等紅葉三等若葉四等達摩參觀者八十餘名翌午前六時散曾せり  
(増毛通信)

大正4年2月21日 北海タイムス

**狩太歌留多曾**

○狩太製線工場高嶺曾主催當村第一回歌留多競技曾は十五日午後四時より旗亭筑後屋樓上に於て頗る盛大に開催定刻前既に七十名の選手集ひ鐵道側は闘將龜岡氏之を率ゐ市街側は雲井組の驕將豊田氏及渡邊氏之を率ゐ高嶺曾は三分隊とし大泉工藤高木三氏隊長となりて陣形の整ふや合戦始り一勝一敗選手の意氣天を衝き愈々白兵戦に入るや高嶺曾工藤隊と雲井組と組みて第一戦の火蓋を切り最後に工藤隊二雲井組一となり遂に雲井組の勝となり第二回は高嶺曾大泉隊と鐵道側との取組にて勝敗なき激戦を演じ翌午前四時散曾せりと

大正4年2月21日 北海タイムス

**函館歌留多大曾**

函館鐵友かるた曾は十四日午後六時より開催來賓競技者とも百餘名に達し翌朝二時終了せるが結局左の如く優等を審判され喝采裡に閉曾せりと  
△一流優勝選手廣島(車掌)本社寄贈賞牌受領△二流優勝選手工藤(田村丸)△三流優勝選手宮部(支工場)

大正4年2月24日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

去廿日札幌區内北八條一寸屋にて寶俱樂部主催の歌留多競技曾は同日午後七時より開催夕凧、鳳、千早、春日、外十數組の取組にて一等夕凧、二等寶、三等千早と決し夫々賞品を與へ頗る盛況なりしと

大正4年2月25日 北海タイムス

**伊達歌留多曾**

既報の如く二十日午後六時より旗亭松葉家に於て歌留多大曾開催來曾者は室蘭有珠の優良選

手三十餘名貫外十五組に分ち來村中なる斯界の續將川口敏澄氏の審判にて競技は間断なく繼續せられ優勝は貫組にて決戦の結果は左の通なるが寺田販賣部の寄贈の引換券は幼年にして其技に熟達せる伊藤達雄氏に歸し午前六時散會せり  
一等貫組大谷鹽治新屋敷飛彦松二等松葉組大西新九郎伊藤達雄三等準組美馬菅原四等大々組大野元治大和田軍太五等曉組松本豊

大正4年2月25日 北海タイムス

### **美唄炭山歌留多曾**

去る二十日當地若葉俱樂部主催第一回歌留多大曾を市街地安江料理店に於て午後六時より開催來曾者は岩見澤梅ヶ枝俱樂部梅、花の二組美唄壽美惠綠紅の二組炭山若葉俱樂部雪月花の三組外混成二組等にて第一回戦若葉雪對壽美惠より始まり順次競技を重ね優待に入りしは梅ヶ枝梅花若葉の月の三組にて一等梅ヶ枝二等梅の花三等若葉月に歸し頗る盛會にて翌午前四時散會せりと

大正4年2月28日 北海タイムス

### **余市歌留多曾**

余市玉兎俱樂部主催かるた曾は二十日富士屋方に開催小樽鹽谷余市各選手の秘術を盡せる競技あり玉兎十數組を倒し最後の勝利を博せりと

大正4年3月3日 北海タイムス

### **白老歌留多曾**

白老若葉曾主催聯合歌留多大曾は去月廿六日市街地菊之家に於て開催來曾せしは室蘭登別敷生追分等にて各撰手激戦の結果全勝にて一等敷生嵐組二等室蘭白露組三等白老若葉組四等登別村雨等に決し散會せしは翌廿七日午前六時なりき（白老通信）

大正5年1月17日 北海タイムス

### **遞友歌留多大曾**

遞友俱樂部歌留多大曾は十五日同俱樂部に開かれた選手は總務經理工務各部一組宛電信課の二組であった何しろ當札幌歌留多界の中堅であり近く小樽遠征の雄団を懷く各選手の必捷の手合せは曉三時迄續いた血戰數十合の末王冠は經理部村田組に授けられ村上組（電信）大石組（總務）山口組（電信）山本組（工務）の順序で閉戦になった樽新及道新社寄贈のメダル各商店寄附の賞品は夫々頒けられた猶ほ來月十一日第二回戦を行ふ豫定であると

大正5年1月18日 北海タイムス

### **名寄の歌留多曾**

来る廿二日午後四時より名寄町大通小北木工場二階に於て第三回かるた大曾を開く主催者は残月俱樂部競技は團体賞品は一等より五等迄にて寄贈品山を為せり申込所は同町4條通四丁目大正堂及び鈴木寫眞館なりと

大正5年1月24日 北海タイムス

### **小樽歌留多戦**

小樽歌留多曾は既報の如く一昨夜正七時より小樽區色内亭に開催されたるが競技出場の戦士は三人一組二十四組七十二人にして多數の來觀者あり定刻主催者側の挨拶ありて直に競技に移り激戦目覺しく昨日正午に到るも終了せず札幌三組小樽四組鹽谷一組余市一組と決戦續行されたるが中にも混成の三浦最も奮戦し在りたり

大正5年2月5日 北海タイムス

### **全道歌留多大曾 延期**

今回キリン俱樂部の主催に掛る全道歌留多大曾は本月十日開催する筈なれども万止むを得ず來月二十日まで延期する事となりし故各俱樂部其の時奮って曾場に向はれたし

大正5年2月22日 北海タイムス

### **聯合歌留多大曾**

遞友俱樂部主催區内各官廳曾社聯合歌留多大曾は十九日夜遞友俱樂部に開催曾するもの道廳四組稅務區役所製麻キリンの花各一組及主催遞友三組豫選に於て稅務組、製麻組、キリン花

組既に一勝一敗し有明組（道廳）小島組（區役所）は克く優退の榮を得たり次で税務遞友區役所は二勝一敗し最後の優退戦は有明組（道廳）ピリケン（遞友）の對戰となりピリケンの主將村田大石渾身の勇を振ふや有明組は十枚餘の差違にて破れ遞友ピリケン組（村田安齋大石敦賀今井）榮冠を占て優勝盃及各商店寄贈の多數の賞品を受けたり閉戦翌廿日午前六時

大正5年2月25日 北海タイムス

### 岩内聯合歌留多大曾

廿二日午後五時より橋町成田屋樓上に於て岩内聯合歌留多大曾を開催集る者旭、金剛、外山、敷島、立田、三笠、八千代、大和の各曾選手四十餘名及來賓百二十餘名選手競技に於て左の成績を示したり 一等旭、二等立田、三等金剛、四等外山、五等敷島 斯くて各々有志寄贈の賞品授與を終りて來賓の競技に移て後酒宴を開きて散會せるは翌午前四時頃なりし

大正5年2月29日 北海タイムス

### 盛なる歌牌曾 岩見澤紅葉亭にて

岩見澤町梅ヶ枝俱樂部主催全道歌留多大曾は三月四日（第一土曜日）午後六時より旗亭紅葉亭に開催の筈にて遠く小樽札幌旭川夕張三方面より續々申込ありとのことなれば定めて盛會を呈することならん因に五人一組の團體競技にて曾費金五十錢なりと

○大正5年3月7日 北海タイムス

### 全道 かるた大曾 ▽二十日札幌で開催

札幌キリン俱樂部主催の全道かるた大曾は愈々来る二十日午後六時より札幌狸小路山福料理店に開催すべし参加團體は五人一組とし十八日までに申込むべく曾費一人金五十錢とし希望者は本社内山口政民佐々木友三郎兩氏にて受付くと競技規約は例年の通り各方面の寄贈品左の如し△純銀賞牌五個山口キリン會長△札幌風景三十部札幌富貴堂△サツク入象牙印三個半田精巧堂△寒暖計五個象牙印一個佐々木氏△靴墨一打札幌南一東二横山靴店

大正5年3月9日 北海タイムス

### 全道かるた大曾

第五回札幌キリン俱樂部主催にかかる全道各選手かるた大曾は愈々二十日午後六時狸小路旗亭山福料理店に於て開催する事は既報の如くなるが尚ほ地方撰手は特に待遇を重んずべく申込みは十六日迄本社内山口政民若しくは佐々木友三郎兩氏宛にて申込まれたし區内の撰手は諸準備の都合ある故十八日迄申込みを希望すと尚本年掉尾の大曾とて各撰手の練習猛烈を極め意氣込盛んなり其の後寄贈品追加左の如し

△純銀賞牌五個キリン會長山口政民△札幌風景三十部札幌富貴堂△サツク入象牙印三個同半田精巧堂△寒暖計五個象牙印一個 同 佐々木氏△靴墨一打札幌南一東二横山靴店△入場券五枚札幌第一神田館△入場券五枚札幌遊樂館△小樽便覽雑誌二十五部同佐々木友三郎△鉛筆五ダース同長尾清美△名刺五百枚印刷券付同西村活版所△萬古焼急須十個南一西四大瀧茶店△炭取五個南一東二 某店

○大正5年3月12日 北海タイムス

### 全道かるた大曾

愈々二十日も間近くなりし事なれば各俱樂部の練習盛んにして毎夜の如く腕を磨きて出席するとの事なれば定めし當日は非常なる盛會を呈するならん昨日迄で申込者地方四組札幌五組其の外個人の申込續々あり尚其の後の寄贈品も續々あり左に掲ぐ

△上等靴下五足 札幌 森新聞店△上等手拭一反 同 米風亭△柱唇十掛 南三西三 豊榮軒

大正5年3月15日 北海タイムス

### 全道かるた大曾

札幌キリン俱樂部主催の全道かるた大曾は愈々二十日午後六時より狸小路山福料理店に開かるべく諸般の準備整へり既に参加を申込める各地團體の選手數夥だしく十八日の締切前に主催者側豫定の満員を見ん有様なれば参加希望の向はこの際至急申込むべしとその後に於る各商店の寄贈品如左

△櫻ビール三打 札幌販賣部 △清水焼茶器一組 中△向井商店 △ゴム底草履五足（拓銀前）⑪小野下駄店 △レートフード五個 北四東二 吉川商店 △菓子折若干 南三西四 笹屋菓子舗 △ラージベーリー四打 札幌麦酒會社 △手拭二反 札幌③吳服店 △菓子大箱一折 停車場通 南部菓子舗△蛇ノ目傘一本 狸小路 仲館商店 △福神漬半斤二打 札幌 三國屋商店 △菓子折五箱 停車場通

北屋菓子舗 △銀メタル一個 小樽毎夕札幌支部

大正5年3月16日 北海タイムス

**深川かるた大曾**

十一日午後八時より仲町八丁目旗亭一力に於て第二回かるた大曾を開催したるに定刻曾長鷺山實平氏開曾の辭を述べ其れより競技開始参加組は深川の大鳳、天轟、猪突、天光、妹背牛の千歳江部乙の白虎其他等にして先づ第一第二第三回戦の結果大鳳白虎千歳優待し第四回一捷一敗組の天光との決戦は天轟勝つて優待と為り第五第六回戦及第七第八回戦の結果左の如くにして盛曾裡に閉曾したるは翌朝午前五時頃なりき（深川通信）

大正5年3月20日 北海タイムス

**全道かるた大曾**

札幌キリン俱楽部主催の全道大曾は愈々今二十日午後六時より狸小路山福本店に開催さるべき準備は既に二週間前より行はれ昨日を以て全く終了参加選手の申込も例年以上に達し各地一流の闘士を網羅しあり奮戦猛撃は想像に難からず目覺しき接戦を見ん模様なり因に曾費當日持参の事なりと

大正5年3月24日 北海タイムス

**かるた戦 ▽一等は札幌白龍**

札幌キリン俱楽部主催全道かるた大曾は豫定の如く二十日午後六時より狸小路旗亭山福に開催さる當日は本道各地の團體を代表して参加するもの實に十六組鉤路あり俱知安あり江別あり岩見澤あり旭川あり追分あり空前の盛観なり定刻直に豫戦に入り午後九時愈々本競技に入るに先だち階上廣間に一同集合山口曾長は一場の挨拶を述べ

**▼紳士的行動を 慊通す**

競技場は階下二箇所とし五人づゝ一組を相對峙審判は五名とし厳正に開始す第一回戦は梅ヶ枝対キリンのヤング、千鳥対キリンの駿馬にて第二回戦に二勝優退せるはキリンのヤング白龍天轟芙蓉白龍のラッセル赫々の六組一勝一敗戦に移り千鳥は脱兎を破り有明のライオンにはキリンの駿馬を殲し翌午前一時優退組の接戦を行ふ有明のライオン対千鳥は千鳥有明に四枚残して勝ち有明為に五等となる一二三四等の争奪戦は抽籤の結果天轟対白龍芙蓉対千鳥芙蓉対天轟千鳥対白龍にて大曾

**▼掉尾の活躍を**

見んとす時に午前五時世は未明の曉色僅に動きて星の瞬く静寂なれどこゝのみは朗々たる讀聲に四隣を驚かす活達の懸聲が湧き睡魔を叱咤して縦横の男性的氣分に満つ斯かる間に白龍は天轟を二枚残して勝ち芙蓉は千鳥に三枚残して勝つ芙蓉亦天轟を破り六勝して優退するあり千鳥白龍は四枚の差にて千鳥を破り白龍六勝して優退愈々三四等の争は美唄の天轟と札幌の千鳥に依りて行はれ千鳥後半大に奮ひ最後に千鳥は「現はれ渡る」一枚のみに天轟は十六枚の持ち札は如何んともする能はず遠征軍遂に千鳥に名を為さしめ四等に落つ

**▼一二等争奪戦**

は小樽の芙蓉対札幌の白龍にて前半は芙蓉優勢なりしも六十枚八十枚に於て芙蓉にお手付あり形勢一變して白龍は六枚のとき芙蓉八枚白龍四枚のとき芙蓉六枚といふ有様にて最後の奮闘も功を奏せず一枚対四枚に於て芙蓉惜しきお手付し大曾の月桂冠は遂に札幌白龍俱楽部の獲得に歸しぬ斯くして大曾競技は果てたり午前十一時一同階上廣間に集合山口曾長閉曾の辭を述べ萬歳を唱和して喝采裡に解散しぬ一二三等の選手名左の如し

△一等札幌白龍竹田小島前川齊藤佐藤△二等小樽芙蓉稻村長谷阿部井戸井高田△三等札幌千鳥桐山佐々木吉川速見松田

因に旭川コバテ稚内サクラ兩俱楽部は大曾に祝電を寄せたりと

大正6年1月17日 北海タイムス

**歌留多大曾**

十三日正午より八雲醫院大廣間にて茅部、山越、壽都、瀬棚四郡の聯合歌留多大曾を開けり來曾者各組の選手九十四名にて目覺ましき奮闘のありたる結果優勝旗は遂に八雲の電光組の占むる處となりたるが各商店の寄贈賞品も多く近時稀れに見る盛曾なりし

大正6年1月18日 北海タイムス

**留萌歌留多曾**

留萌町歌留多曾は十三日午後八時より天勇に開催せり増毛より有明組大和田よりアラビヤ組の参加あり留萌町にてはマケン組飛行組スミレ組天狗組力活組等出戦翌十四日午前三時頃迄奮闘せる結果一等賞は留萌町マケン組古堂近嵐瀬谷氏等の占むる處となれり二等は有明組福吉原田中三等飛行組田沼有田杉本の諸氏にして田沼幹事長より優勝旗賞状賞品を授與し引上げたり

大正6年1月20日 北海タイムス

**道廳員のかるた曾**

北海道廳員有志の有明曾第五回かるた曾は去る十三日午後二時より道廳俱樂部に於て開催せられたるが個人競技参加者二十八名中第二回戦にて優退となりたるは久島、河島、大高、北見柴田、吉田、張江の七名第三回一勝一敗者の競技にて眞島、菊地、奥村、近間、成澤、一色、古川の七名勝を占め茲に優勝者競技に入り一等久島二等大高三等眞島四等河島五等菊地六等成澤七等古川入賞終つて来賓競技を開始一等高野二等大門三等山田四等石上と決す之より團體競技に入り番組左の如し

○ 一組久島、古田、荒谷、蛇名、渡邊 二組大高、大場、高當、奥村、遠藤 三組眞島、北見、小松  
野澤、伊藤 四組河島、古川、藤原、志田、中村 五組菊地、近間、栗原、中島、柴田 六組成澤  
一色、田畠、張江、高野 斯て第二回戦に一組先づ優退し三組棄権第三回六組の一色五組の栗原各持札一枚づゝとなりしか疾風の如き一色の手に栗原惜しくも敗る第五回四組の古川一枚五組の近間六枚となりしが近間能く防ぎ古川焦り氣味となりてお手付をなし近間二枚古川三枚となり形勢俄然一變して古川挽回の暇なく殞る最後に一組對五組の一等争覇戦にて一組の久島奮戦甚た努め持札二枚五組の近間一枚となりしが遂に近間に突かれて惜くも敗れ茲に賞品の授與あり非常の盛況裡に十二時散曾入賞組左の如し

一等五組、二等一組、三等四組、四等六組

大正6年1月23日 北海タイムス

**岩内聯合歌留多曾**

廿日午後六時より岩内かぎや旅館に開催出席會員は俱知安、札幌、泊方面を合せ百餘名景品山の如く盛曾裡に翌朝散曾せり

大正6年1月31日 北海タイムス

**黒松内歌留多大曾**

廿七日午後五時より梅本醫院内に於て本村歌留多曾主催の大曾を開曾せしが八雲村の遠征ありて來曾者四十餘名に及び頗る盛曾なりしが公平なる審判の証に左の授賞ありて翌午前六時散曾せり 一等軍鶏組（黒松内）二等鐵拳組（黒松内）三等轟組（八雲）

○ 大正6年1月31日 北海タイムス

**和寒かるた曾**

廿七日土曜日上川郡和寒電俱樂部主催にて第一回かるた曾を市街地平井屋に開催せるが選手四十餘名旭川より旭光蘭留より紅葉、劍淵より春海及び白虎等遠征あり之に和寒の電、貫、凜々、力、黒人と九組にて決戦し結局優勝旗は旭光の手に入り翌朝七時散曾せりと

大正6年2月1日 北海タイムス

**小樽かるた大曾**

小樽八千代俱樂部主催第二回かるた大曾は来る三日（土曜日）午後六時より妙見町色内亭に於て開催する由にて猶組は三人一組札は正一枚賞は四等迄加入者は同俱樂部迄申込れたしと

大正6年2月1日 北海タイムス

**當別かるた曾**

来る三日午後五時より石狩郡當別當盛館に於てかるた曾を催すと云ふが曾費金三十錢なりと

大正6年2月17日 北海タイムス

**江別歌留多曾**

既報の如く去る十日夜八時より江別町工藤豊吉氏宅樓上に於て大正俱樂部主催第六回歌留多

大曾を開催したり岩見澤札幌を始め當別野幌等よりも参加者あり且來觀者も頗る多く大盛會なりき組競技より引續いて個人競技にうつり翌日正午散會せり結果を左に  
一等大正月（江別）二等達摩松（岩見澤）三等大正キリン（江別）四等カササキ（江別）五等大正花（江別）以上組競技 一等大平（江別）二等島（同）三等我妻（同）四等木村（同）五等高橋（同）六等野澤（同）七等高張（同）以上個人競技

大正6年2月24日 北海タイムス

### 一巳歌留多大曾

既報の如く雨竜郡一巳村第四回大曾は二十一日午後六時より孤村氏宅に於て開催なしたるが曾するもの二十三名尚同村よりの來曾者多數あり大盛會裡に夜の開くるを知らず翌朝茶菓の持成しありて散會せりしは七時半

大正6年2月24日 北海タイムス

### 鶴川かるた曾

去る十七日午後六時より木村旅館に於て第二回かるた大曾開催出席者早来時鳥、沙留太天馬知決邊三笠白露、輪西敷島等の遠征あり鶴川のかさゝぎ有明疾風等八組にて翌午前七時迄戦ひ公平なる審判のもとに決戦散會せり  
△一等かさゝぎ△二等天馬△三等三笠△四等疾風

大正6年3月20日 北海タイムス

### 鶴川かるた曾

鶴川村朝日俱樂部主催にて同會員の春季歌留多大曾を十三日午後七時より開會出席會員並に優點左の如し  
岩葉（本田留、田中、渡邊）一かさゝぎ（三原田、齊藤、中茂）二日之出（高木、本田勇、野寺）三朝日（本田庄、加藤、松本）四初瀬（苦米地、八巻、松上）五花菱（山本、寺田豊、工藤）

大正6年3月24日 北海タイムス

### 敷生かるた曾

敷生村嵐曾主催追分室蘭間各村聯合歌留多大曾は来る二十五日敷生中央青年會館に於て開催する由にて目下準備中なるが今回は各商店等より續々寄贈品の申込あり尚又特に有志の希望に依り數番の懸賞附競技等もある由なれば定めし盛なるべし

大正6年3月31日 北海タイムス

### 全道かるた曾

札幌中嶋公園大中に開催の同大曾は愈今三十一日午後六時より競技開始さるべく参加團体二十餘組に及び選手百餘名に達する筈にて各方面の同情聲援頗る盛にて空前の盛況にありと主催者側は満足し居れり

大正7年1月11日 北海タイムス

### 小樽かるた大曾

小樽決誠俱樂部主催の下に明十二日（土曜）午後六時より小樽貯金支局前木材商組合事務所樓上に於て開催の由、因に五人一組曾費六十錢にして地方團體申込み續々ある由なれば當夜は定めし盛會ならん

大正7年1月14日 北海タイムス

### 小樽の歌留多大曾 ▽札幌から遠征軍も来て

既報小樽決誠俱樂部主催小樽歌留多大曾は一昨十二日午後七時から花園町小樽材木商組合事務所樓上で華々しく開催、五人一組の ▽決戦團體は 小樽の巽、飛鳥、三笠、白島、不知火、芙蓉、凜風紅鳥、決誠、混成の諸曾と札幌から遠征に來た天馬曾、勇振兩曾の十三團體にして参加選手六十五名、華やかな電燈の下に集ふ觀戰部隊の中には美装した若いマダムや令嬢も交じりて快活な若い笑聲湧き立つ賑やかさ此處ならでは見られぬ春宵の樂天地であった ▽最初各團體 交互豫選合戦で第一二回戦の勝負は

<第一回戦○印勝無印負>

混成○巽 ○芙蓉 疾風 飛鳥○決誠一 ○勇振 不知火 ○飛鳥 決誠二 ○芙蓉 天馬

<第二回戦>

○紅鳥 凜風 ○芙蓉 飛鳥 不知火○決誠 ○巽 決誠二 ○勇振 芙蓉二 混成○天馬  
選手豫選は右の様に午後十二時終り戸外静かに降り積る雪に更け行く春の夜の歌かるたはいよいよ熱狂し ▽昨朝夜明方 から刻々に戦ひは激しくなり二回勝負に二回とも勝た全勝優退組は決誠一の組、芙蓉一の組、巽、紅鳥勇振の五組と一勝一敗預り、上った三回試合に一回勝た芙蓉二の組と合せて六組を出し愈本競技に入り決誠軍と紅鳥軍と猛烈な戦ひあって終に紅鳥組の勝利となり次いで各組は孰れも火花を散して決戦し結句一二三等競技出戦権を得た組は紅鳥、巽、芙蓉一の組の三組選出し ▽最後の決戦 愈月桂冠の争奪戦は華々しく開催され苦戦の結果遂に當夜の榮冠の占たのは一等賞芙蓉曾、二等賞巽曾、三等賞紅鳥曾であった。選手汗にまみれ読み手の朗な聲さへ嗄れ笑ひさゞめき乍ら御壽司や御瓣當を喰ひ閉曾したのは昨午前十一時であった。因に當夜の最も目ざましかつたのは札幌遠征軍天馬組の三舟選手、凛風組の丹野榎原兩選手等の昔とつた杵柄すごい腕であった。

大正7年1月17日 北海タイムス

余市かるた戦

余市燕曾主催全道歌留多大曾は十九日午後五時より余市にて開催に決し既に全道各地より選手五十餘名の出場通知あり各選手は三人組とし夫々準備中なるが尚希望者は十八日迄に同町水産組合内燕曾迄に申込むべく會場は追て決定すべしと

○大正7年1月20日 北海タイムス

網走加留多曾

網走第五回加留多曾は十九日北盛亭に於て開催さるゝ由當日は各地より選手出席の筈非常の盛況を呈するならん

大正7年1月29日 北海タイムス

全道かるた大曾

札幌かるた界の重鎮白龍俱樂部の幹部は過般來理想的全道かるた大曾を開催せんと奔走中なりしが愈機熟し來月十日午後五時より札幌狸小路一丁目第一勧工場隣曲久久樂庵ビーヤホール階上に開催に決せり曾費六十錢五人團體とし既に江別小樽岩見澤瀧川旭川追分等より數組の参加申込ありと云へば空前の盛況を呈せん

大正7年1月29日 北海タイムス

和寒かるた曾

宗谷線和寒凜々黎明合同かるた曾第一回大曾を一月第四土曜日に開催の筈なるが凜々の佐藤氏九州長崎に旅行し二十六日坂道せるを以て右大曾を二月九日開催に決す定めし盛曾ならん

○大正7年2月3日 北海タイムス

北見かるた曾

野付牛町北天曾主催となり来る十日午後十時より野付牛町梅の家樓上大廣間に於て北見聯合かるた大曾を開催するに決定せる由なるが已に参加を申込みたる團體は網走四組、美幌二組野付牛十組、訓子府、置戸生田原遠軽各一組留辺蕊二組合計二十二組也

大正7年2月8日 北海タイムス

瀧川歌留多大曾

来る十六日空知郡瀧川町玉兎俱樂部主催にて同地兼△朝日庵を會場とし第三回全道歌留多大曾を開催す可く競技は三人一組とする由にて既に町有志よりの寄贈品多數なれば盛況を呈す可しと

大正7年2月9日 北海タイムス

砂川に開きたる 全道歌留多曾 △月桂冠は岩見澤

砂川紅俱樂部主催全道歌留多大曾を二月二日午後七時半より高砂樓上に開催せるが札幌より脱兎、怒涛、岩見澤より梅ヶ枝月、同雪、同花、奈井江より鐵拳、神威より渚、瀧川より玉兎の光、砂川紅の薔、紅の花蝶、皆鶴、皆鶴の龜混成蟲等にて會長の開曾の辭に次ぎ競技開始各選手必死の奮闘を續け午前九時半目出度終了せり當日の優勝旗は岩見澤梅ヶ枝月の手に落ち凱歌を奏して散會せるが唯遺憾なりしほ札幌脱兎の時間の都合上充分敏腕を振ふ能はず

自ら棄権し三等に甘んじて歸札せる一事なり即ち結果左の如し  
△一等岩見澤梅ヶ枝月△二等瀧川玉兎△三等札幌脱兎△四等岩見澤梅ヶ枝雪

大正7年2月11日 北海タイムス

**留萌歌留多大曾**

留萌町かるた曾は十日午後一時より大通り酒井園碁集曾所に聯合かるた大曾を開くに決したるが當日は増毛、大和田及び遠く鬼鹿方面よりも選手参加する由にて寄贈品も例年よりは頗る多き為盛曾ならん

大正7年2月12日 北海タイムス

**全道かるた曾**

札幌白龍俱樂部主催の全道かるた大曾は愈々今十日午後五時より狸小路西一丁目ビーヤホル階上に於て開催さるべし選手は岩見澤小樽よりは殊に多數参加ある筈にて各方面の應援多く寄贈品も澤山ありと謂へば稀有の盛況を呈すべし

大正7年2月13日 北海タイムス

**全道歌留多大曾**

既報の如く札幌白龍俱樂部主催の北海道全道歌留多大曾は去る十日午後九時頃より當區南三條西一丁目曲久樂庵樓上にて空前の盛況裡に行れたるが出演競技者は札幌白龍、脱兎、決誠、魔劍其他を合せ全部十四組小樽芙蓉外四組計十一組にして廿組にして一組五人宛なれば參觀者共無慮三百名にして階上階下人を以て埋まり定刻三時間を過て主催側たる札幌白龍曾の齊藤氏の簡単なる開曾の辭の後直に競技に移り一勝一敗何れも息も繼がせぬ興味の裡に棄権する組優退する組陸續として相繼同夜徹宵更に翌十一日終日競技を行ひて尚終結を告げず各選手は益元氣にして午後五時三十分漸く第二回戦を終りて愈争ひは戦に移りたるも勝敗容易に決せず午後七時十五分遂に成績優良なりし組より抽籤を以て等級を附したる結果一等札幌脱兎二等同魔劍の花三等小樽芙蓉四等小樽決誠五等同辰巳と決定し期待以上の大成功裡に散曾

大正7年2月17日 北海タイムス

**鶴川かるた曾**

去る十一日紀元佳節をトし旗亭榮亭に於て朝日俱樂部主催の下に第二回かるた大曾を開催せざるが出席者多數にて盛況を呈し翌午前六時閉曾を告げたり當日受賞者左の如し  
一等若葉（本田留、本田勇、中茂）二等荒駒（工藤、田中、梅田）三等旭星（山本、小野寺、渡邊）  
四等朝日露（本田省、八巻、塚田）五等朝日雪（高木、齊藤、山水）の諸君なり

大正7年3月1日 北海タイムス

**奥尻歌留多曾**

去月十一日午後六時より奥尻郡奥尻乾清寺に於て歌留多大曾を開催し参加俱樂部乙女、むべ山、隼、鶴、むべ山荒、有明にて激戦の結果一等有明二等むべ山荒三等隼と決し次で個人競技に移一等中川二等山科三等奥田と成り盛曾裡に散曾せり

大正7年3月1日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

札幌區初瀬俱樂部主催にて二日（土曜日）午後六時より北八條西三丁目旗亭一寸家に於て札幌歌留多大曾（三人一組）を催す由尚曾費は四十錢地方團體申込差支なしと

大正7年3月4日 北海タイムス

**岩見澤全道かるた大曾 △梅ヶ枝俱樂部主催**

岩見澤町梅ヶ枝俱樂部主催第三回北海全道かるた大曾を二日午後九時より旗亭吟月亭に於て開催す参加するもの札幌、栗山其他地方選手及び町内選手二百餘名にて空前の盛況を呈したり先づ主催梅ヶ枝俱樂部會長伊東泰助氏一場の挨拶を述べ夫より競技に移り奮戦躍闘各組共全力を傾注したるが岩見澤の梅ヶ枝の為散々の優勝を占られ殆ど地方選手顔色ながらしめ三日前八時競技終了入勝左の如し

△一等（岩見澤）梅ヶ枝の月組（十五圓）△二等（岩見澤）梅ヶ枝雪△三等（栗山）東雲

大正7年3月13日 北海タイムス

**名寄歌留多曾**

宗谷線名寄町残月俱樂部主催にて第一回かるた大曾を来る十六日土曜日午後六時より同町澤井料理店に於て開催の筈競技は三人一組一等より五等まで曾費は五十錢、各商店よりの寄贈品豊富にして各地よりの申込多數あり無二の盛曾を見るべしと

大正8年1月13日 北海タイムス

**全道かるた曾**

室蘭毎日新聞社主催白鳥曾發起にて来る十八日午後六時より同區海岸町ひさご家に全道かるた大曾を開く由競技は下の句三人團體なりと

大正8年1月23日 北海タイムス

**恵庭歌留多大曾**

十九日午後七時より恵庭市街地松月亭に於て恵庭歌留多大曾を開催各商店及び諸有志者の寄贈金品山をなし参加せる十數組の選手が猛烈なる手合せ六十回に及一般觀衆も應援のため續々集合せり當日の一等は白梅組二等不戴天組三等英組に夫々本副景品を授與し松月亭寄贈の酒肴饗應あり近年稀なる大盛曾裡にて翌二十日午前五時散曾せり

○大正8年1月31日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

既報せる如く明一日土曜日をトし北八條西一丁目一寸屋料理店樓上に於て午後六時より札幌選手の歌留多曾を開催するにつき地方よりも團體の申込多く中にも少年共の團體は非常に優勢を告げ居ると云へば當日は定めし盛曾を見るならん因に當日曾費持參せらるべしと

大正8年2月6日 北海タイムス

**札幌かるた大曾**

既報の如く脱兎俱樂部主催に係る札幌かるた大曾は去二月一日午後八時より一寸屋に於て開催せるが参加組十四にして内小樽二人、岩見澤二人江別一人の個人参加ありて近來稀有の激戦をなし翌日午前八時無事閉曾せり尚當日の優勝組左の如し  
一等脱兎二等一寸屋（雪）三等道振

大正8年2月9日 北海タイムス

**湖路（おしょろ）歌留多曾**

歌素村字湖路鷗曾主催の歌留多大曾は八日同村旗亭笠木に於て舉行すべく商店有志寄贈の景品多大にて各俱樂部及近村より多大の参加あり本村に於ては本年始めての試み故盛曾を見るべし

○大正8年2月11日 北海タイムス

**北門社の歌留多曾**

小樽區北門日報社にては昨十日午後六時より稻穂町中央俱樂部に於て北門社主催の盛大なる歌留多大曾開催せるに申込者四十組あり未曾有の盛曾にて定刻より○○（ひしひし）詰かけ北門社よりは各所寄贈の景品を呈し一時間毎に益盛大を極め徹宵勇ましき歌留多戦數十番に及びたる筈

大正8年2月15日 北海タイムス

**瀧川歌留多曾**

恒例による瀧川玉兎俱樂部主催の歌留多大曾は来る十五日曲△朝日庵の大廣間に開催の事に決定し札樽其他各方面に夫々招待状を發したる由なるが本年は賞金二十圓以下多數にして物品の寄贈も亦尠からざる由なれば定めし盛況を呈するならんとの事なり

大正8年2月24日 北海タイムス

**三石カルタ戦**

去十一日紀元節をトし日高國三石村洩れ出る曾主催となり第二回カルタ曾開催静内押別より選手数名來村仲々盛曾なりしが優勝は押別金剛曾なりき

大正8年2月26日 北海タイムス

**砂川歌留多曾**

砂川紅俱樂部主催全道歌留多大曾は去二十二日午後七時より高砂樓に於て開催集合せる團體は小樽急進、翼、札幌脱兎、東雲、ダルマ、江別夕潮、岩見澤梅ヶ枝の月、同雪、同花、苦小牧極光、奈井江鐵拳、瀧川白妙、同白、楓光、砂川組の薺、同花、花蝶、日章の十八組人員九十名にして定刻吉田會長の挨拶あり續いて豫選競技に入り第一、二回戦にて日章、ダルマ、東雲、花蝶棄権し第七回戦優勝組となりしは紅の薺、急進、翼、梅光、梅の月にして不眠不休奮戦翌二十三日午後四時最後の決戦の結果一等急進二等極光等なりし

大正8年3月5日 北海タイムス

**宗谷線の歌留多大曾**

石狩天鹽北見を通ずる宗谷線歌留多選手相謀り最終の大曾を催すべく美深有志及び歌留多俱樂部主催の下に美深を中心とする大曾は来る八日午後正六時美深八線丸は席上に於て舉行の筈なるが希望者は曾費一圓持参の上遠慮なく出席を望むと同夜は折詰瓣當を出し賞品には一等金十五圓二等五圓三等三圓其他澤山の景品の由

大正9年1月20日 北海タイムス

**苗穂歌留多曾**

十八日午後五時より區内苗穂町春駒家樓上に於て魔海俱樂部主催の下にかるた大曾を催したるが來曾者約七十餘名にして、花々しき接戦の結果、月桂冠は飛龍紅鐵化の諸團體に歸し賞品は夫々分配され盛曾裡に散曾したるは拂曉三時頃なりき、因に二月一日午後五時より同町東雲俱樂部の主催の下に前期春駒家にて開催すべしと

大正9年1月24日 北海タイムス

**全道歌留多大曾開催地決す ◇來月岩見澤にて**

本道に於ける歌留多熱は年を追ふて著しく昂騰し來り山村僻邑全道大曾の開設を開くに到りたるも其主催者側顔觸及地理的關係等により廣く全道各地選手の大集合を不可能ならしめ随つて其名稱の堂々たるにも似ず内容極めて貧弱なるの感ありしが這回札幌、岩見澤、瀧川、砂川等に於ける元老諸氏協議の上地理上尤も利便の位置を占むる岩見澤に於て斯界知名の團體梅ヶ枝俱樂部主催の下に二月七日の第一土曜日午後六時より旗亭吟月に於て花々敷全道大曾を開催することに決定し既に各方面に向つて案内状を發送せりと云へば定めて當日は龍驤虎搏の活況に骨鳴り肉躍るの大激戦を演ぜらるゝことならん因に當日は五人一組の團體競技にして曾費は金八十錢なり

大正9年1月27日 北海タイムス

**道廳俱樂部内の歌留多曾 ◇來月一日開催**

創立以来十年の歴史を有する道廳關係吏員より成る道廳俱樂部内の歌留多曾有明曾では目下曾員六十餘名あるが來月一日の日曜日を期し午後一時から同俱樂部で歌留多大曾を開催すると云ふ競技方法は個人競技、團隊競技に分け優勝者には賞品を贈與する筈なるが區内各商店より賞品に當つ可き多數の寄贈品あるよし尚小樽の雜穀検査員より成る支部からも多數の曾員参加する筈だと云ふ

大正9年2月3日 北海タイムス

**道廳有明曾の歌留多大曾 ◇一等は小樽へ**

北海道廳内有明曾歌留多春季大曾は既報の如く一昨一日午後一時より道廳俱樂部樓上に於て開催曾する者本廳支廳測候所員を始め小樽雜検査員より成れる有明曾の支部の二十餘名等總數六十餘名に達せり正一時個人競技を開始せるが井澤小島森内倉口前田仲島松川近間等の猛者揃ひの事とて開始前より何も意氣沸騰し競技開始と共に龍驤虎搏の戰ひ目覚しきものありて左の如く決勝せり

▲一等小樽雜檢井澤▲二等小樽雜檢倉口▲三等本廳小島▲四等小樽雜檢森田▲五等本廳佐藤更に午後四時より各組を編成し團體競技に入り一勝一敗競技益す白熱し處の戰實をなし一等井澤組に歸し五等迄決せしも時間の都合上五等以下は抽籤にて定め富貴堂維新堂其他より寄贈ありし山の如き賞品を分配し十一時過ぎ散曾

大正9年2月7日 北海タイムス

**岩見澤の全道歌留多大曾** ◇七日午後六時から

歌留多曾知名の團體たる岩見澤梅ヶ枝俱樂部の主催にかゝる北海全道カルタ大曾は愈々七日午後六時より岩見澤旗亭吟月に於て花々敷開催の筈にて主催側は外來選手の接待其他の準備に狂奔しつゝあり旭川札幌小樽を始めとして其他全道各地より多數の選手参加の模様なれば當夜は定めて目ざましき活劇を演ずることなるべし

大正9年2月17日 北海タイムス

**全道歌留多大曾近づく** ◇廿一日旗亭福井にて

十數年來連續開始せられし全道歌留多大曾は一時中止の有様なりしが今般札幌村雨俱樂部主催となり来る廿一日（土曜日）午後五時より區内旗亭福井に於て開催する筈にて小樽の巽、紅潮、佛各俱樂部、江別の大正俱樂部、砂川の紅俱樂部、瀧川の大和俱樂部、旭川の若葉俱樂部其他苦小牧、余市等の選手も参加する由なれば當日は定めて盛大なるべく團體は勿論個人の参加も大いに觀迎すべければ希望者は廿日迄に區内福井方札幌村雨俱樂部宛に申込みありたしと曾費一圓

大正9年2月23日 北海タイムス

**全道歌留多大曾** 一昨夜福井樓にて

札幌村雨俱樂部主催全道歌留多大曾は既報の如く一昨廿一夜區内旗亭福井樓に開催、來曾者は札幌小樽岩見澤江別其他よりの出場選手を始め應援者觀覽人等二百餘名にして定刻午後八時曾長木下三四彦氏開曾の辭を述べ選手を五人組二十組に分ちて愈々猛烈なる競技に移り奮闘十五時間の後二十二日午前十一時盛曾裡に終了せり結果左の如し

▲一等小樽佛組▲二等札幌脱兎組▲三等札幌明星組

大正9年2月26日 北海タイムス

**官廳歌留多大曾** ◇區内豊川稻荷にて

區内並に地方官廳聯合歌留多大曾は道廳内有明曾主催の下に来る二十八日（土曜日）午後五時より區内南七條西四丁目豊川稻荷奥座敷に於て開催の筈下の句三人組個人の申込も差支なく曾費一人七十錢續々參曾の申出ありと

大正9年3月2日 北海タイムス

**有明曾主催の歌留多大曾** ◇全勝は遞友組

道廳有明曾主催の全道歌留多大曾は既報の通り去二十八日午後七時から區内南七條西四丁目豊川稻荷社に於て開催されたが參曾は何れ劣らぬ腕自慢の二十組で眞に道内歌留多曾のオーソリチーを一堂に集めた程あつて定刻柴田理事の開曾の挨拶終るや意氣先づ大に昂り星取法に依つて勝負を開始したが火花を散らす奮戦の結果終に全勝は遞友組の月、同雪、鐵道の飛龍印、同刷及び疾風の五組に歸し抽籤の結果一等遞友月、二等飛龍印、三等遞友雪と極まり五番館から特に寄贈されたメタルには月組の手に與へられた其他には金品の贈與があつたが尚當日最も一同に期待された小樽雜檢の有明曾支部は不参で稍物足らなさを感じしめた

大正10年1月11日 北海タイムス 広告

**全道歌留多大曾**

日時 壱月拾四日午後五時より

曾場 札幌狸小路岡田館樓上於

入曾御隨意曾場ニテ受付五人一組

主催 南東俱樂部

大正10年1月12日 北海タイムス 広告

**全道歌留多大曾**

日時 壱月拾四日午後五時より

曾場 札幌狸小路岡田館樓上於

入曾御隨意曾場ニテ受付五人一組

主催 南東俱樂部

大正10年1月31日 北海タイムス

**全道かるた大會**

小樽穀友俱樂部主催の全道下の句かるた大會は來月十日午後五時より同區稻穂町中央俱樂部に於て開催すべく當日は優勝旗並に山なす賞品あれば盛況を呈すべく申込所は堺町鍋谷商店方なりと

大正10年2月4日 北海日日新聞

**深川の全道歌留多大會 各方面的應援**

深川町北陽俱樂部主催全道歌留多大會は二月五日午後六時より同町驛前宮島家樓上にて開催下の句三人一組にて瀧 砂川江部乙妹背牛留崩旭川岩見澤方面よりの申込多數に達し町内各料理店商店等の應援猛烈にして寄附贈品多大なれば定めて盛況を呈すべし

大正10年2月7日 北海日日新聞

**全道上の句歌留多大會 小樽にて開催**

小樽區美芳野俱樂部にて同業新小樽後援の下に来る十二日午後正五時より小樽花園俱樂部に於いて上の句歌留多大會を盛大に催すべく尚申込所は小樽區花園町西三丁目廿五番地伊井方美芳野俱樂部なり

大正10年2月7日 北海タイムス

**上の句かるた曾**

新小樽社後援の下に小樽美芳野俱樂部主催にて全道上の句かるた大會を来る十二日午後正五時同地花園俱樂部に於て開催すと

大正10年2月21日 北海タイムス

**札幌に全道歌留多大會 金鈴俱樂部生る**

札幌に確実な歌留多チームを創設しやうと言ふ事で先般來努力中であつたが愈々金鈴俱樂部といふのが生れる事になったが其 ◇第一聲 を全道選手大會に依つて舉げやうと十八日午後七時から薄野の曙で幹事會を開いたが會長には木下三四彦氏を後援には札幌に唯一の古い歴史を有する勇振俱樂部と決つた開會時日は来る廿六日午後六時から南二條西三丁目の旗亭曙とし参加團體は一人に付會費一圓觀覽料廿錢で盛大に舉行しやうと言ふのだが之に依つて ◇今日迄 の札幌に於ける歌留多曾の汚名を雪がうといふ丈けに意氣込は素晴らしいものがある新聞社側の後援は當日出席した戸田（小樽）成田（道新）長谷川（タイムス）が個人で為る事とし第一回の成績に視て社へ交渉する旨を約し賞牌は各社共寄贈する筈で慎重な監督の下に行はれるのであるが賞金は一等五十圓とし二、三等は追つて發表さる可く ◇模範的 競技たらしめやうと準備萬端に遺憾ない様に努めてゐるが今秋の第二回戰には優勝旗をも調製すべく計畫中である尚之迄輕視してゐた婦人競技室をも設けると共に上の句競技をも行る筈だが五人一組とする事は從來通りであると

大正10年2月23日 北海タイムス

**小樽の全道歌留多大會 北門日報主催にて**

北門日報社主催全道上下句歌留多大會は來る二十六日午後六時より稻穂町中央俱樂部に於て開催の筈にて既に小樽、札幌、余市其他各地よりの申込み多數に上り各商店よりの副賞寄贈品も尠からず前景氣盛なるが競技は全部個人競技とし賞品は一等天賞堂特製金牌以下十等までとし申込受付は二十五日までなりと

大正10年2月26日 北海タイムス

**全道歌留多大會は本日開戦 札幌金鈴俱樂部主催**

札幌金鈴俱樂部主催、勇振俱樂部並に小樽、道新、タイムス三社記者の後援より成りし全道下の句カルタ大會は今廿六日午後六時から薄野久津和樓跡曙に開かれる事になった昨日午前中の申込は約廿團體に達したから本日は三十團體は超えやうと想像されてゐるが幹事が熱心の運動は現金百廿圓並に諸處からの寄贈で賞品は相當豊富らしい技室は下の句三室上の句婦人部一室を設備せり

大正10年2月28日 北海タイムス

### 紅白の鉢巻や襷掛けの 全道歌留多大曾

#### 室蘭や釧路の果から集つた各團體の總数四百名に上る

紫に金の刺繡で勇み振りと書た鉢巻や緋縮緬の襷を掛けた選手や之に對抗する梅ヶ枝の赤白瀬の白鉢巻等の猛者に依て充たされたる全道歌留多大曾々場たる札幌薄野の曙に廿六日午後七時には四百名を超ゆる盛況を示した参加團體は鐵拳、白瀬、呑龍（光、風、雲）曙（天、地、人）呑風、夕霧（松、竹、若葉、隼、逆鬼、曉聲、荒波、千鳥、月、花）天祐、村雨（婦人、男子）きりも、伊藤、如月、もつきり、勇振（月、星）以上札幌北光（旭川）北斗（余市）梅ヶ枝（雪、月、花、岩見澤）白鳥（室蘭）紅（砂川）極光（苫小牧）○火（小樽）吹雪（小樽）流星（釧路）筈で八時を告ぐる時計と共に木下會長は廊下に溢るゝ選手に對し同曾の貢献並に競技に對する注意を為して▽開曾を宣し八時半より四室に亘る競技室に當日……………

下の句詠みは三室で廿七日午前十一時迄漸く第一回戦を終り決勝の判明されるのは午後六時頃にならうと觀測されてゐる扱て上の句競技は大曾として舉行されたのは札幌では囁失とするゝ處で抽籤の結果裁判所組より成る呑龍の月と村雨との對戦より開始惜や村雨に一蹴され次て村雨の婦人組が隼と對陣 ▽綺麗な お手際を見せてゐたが終りに近づいて歯が立たなかつた、呑龍の風組と逆鬼は最後迄攻守半して面白い勝負を見せたが逆鬼共に風飛ばされ夕暮が代つて對つたけれど是も物の數ならなかつた然し中堅の宇能君の孤軍奮闘は目醒しかつた之で二回戦に入り村雨の婦人組と呑龍の月組との二勝戦に入つたが十二三枚の處で婦人組の手際冴を見せ六尺男子を瞠着たらしめ夕暮と呑龍の月組には夕暮の堅牢なる手捌きに依つて快勝尚午後〇時より ▽優勝戦 に入り村雨と夕暮、隼と逆鬼等伯仲し大好戦を見せたが結局村雨の一等隼の二等逆鬼の三等で〇が付いたが逆鬼の三等は何處迄も紳士的に取つた處は立派で隼が守勢に見苦しい態度を執つたのは唾棄せねばならぬ之で賞品の授與を終り暁の四時半終了更に上の句の個人競技を行つたが高野氏優退し天野氏四勝一敗鎌田氏三勝二敗の順序を示し十時終了したが下の句戦は更に後報する事にする（正午記）

大正10年3月2日 北海タイムス

### 和寒歌留多曾

宗谷線和寒魔刃曾主催の全道かるた大曾は五日市街地菊の家樓上に於て開催することに決したるが競技法は三人組にて二勝優待二敗棄権とし賞は一等より五等までと定め又棄権組に對しても婦人對争奪戦を行ふ筈にて既に各地よりの申込二十組以上に及べりと

大正10年3月3日 北海タイムス

### 歌留多曾の決勝戦 全道下の句競技

廿八日午前三時半を以て終了の札幌薄野曙に開催せる全道歌留多大曾の下の句競技は開始翌日の廿七日午前七時半より愈々決勝戦に移りたるが之迄優勝し來れる各チームは紅（砂川）北斗（余市）白鳥（室蘭）千鳥（札幌）勇振（札幌）の五組にして左の如き接戦の後北斗は一等千鳥は二等勇振は三等白鳥は四等紅五等に決し木下會長より賞品を授與し金鈴俱樂部、北斗俱樂部の万歳を三唱し散會せり

▲勇振對紅 紅は六枚の差にて勇振に敗れたるも其戰術の綺麗なる全道にて模範的たる可く推賞的なりたるは賞す可し▼北斗對白鳥 此瀬戸際に至り疲労出てたる白鳥は陣容亂〇の如く卅三枚の大差を以て北斗に一蹴さる▼勇振對千鳥 勝敗に至る迄善攻善守逆賭するを許さざりし接戦たりしもお手付の結果千鳥は四枚の差にて勝つ▼紅對千鳥 歸郷の為紅は棄権し五等となり千鳥のみ僥倖を得るに至れり▼北斗對勇振 不眠不休の勇振は此三日に亘る競技に疲れ慘敗し三等となりたり▼北斗對千鳥 老巧の北斗の策戦は見事新進の千鳥を倒し五枚の差にて一等と為り凱歌を擧げたり

大正11年1月12日 北海タイムス 広告

當月拾四日土曜日主催紅葉俱樂部

午後六時開曾 後援 新星詩社

歌留多大曾 曾費壱人壱圓參人壱組

会場 札幌區南4條東貳丁目

丸惣 蕎麦や

大正11年1月12日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

十四日午後六時より當區南四條東二丁目丸惣蕎麥屋に於て紅葉俱樂部主催新星詩社後援の下に札幌歌留多大曾を開催すと曾費一人一圓但し三人一組となし地方人も觀迎すと

大正11年1月14日 北海タイムス

愈々 本日午後六時開催 主催紅葉俱樂部 後援新星詩社

**歌留多大曾 曾費老人壱圓參入壱組**

会場 札幌區南4條東貳丁目

丸惣 蕎麥や

大正11年1月28日 北海タイムス

**つらぬき曾**

北大内の歌留多同好者から成るつらぬき曾では上の句競技を宣傳する為第一回例曾を明廿九日午後三時から停車場通りカフェー、バウリスター階上で開催の由で曾費不用多數來曾出場を觀迎すと

大正11年2月3日 北海タイムス

**札幌かるた曾**

来る十日午後七時より區内南五條西七丁目長命湯俱樂部樓上に於て北星俱樂部主催にてかるた大曾を開催（曾費一人五十錢にて五人一組）一等より三等まで賞金を呈すべしと

大正11年2月8日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

札幌春季歌留多大曾は来る十一日午後六時より睦俱樂部、白石俱樂部主催及松風俱樂部後援の下に白石遊廓白石家に於て開催すべしと、因に四人一組にて曾費一人一圓

大正11年2月16日 北海タイムス

**江別歌留多曾**

江別歌留多協曾主催の下に十八日午後六時より旗亭常盤樓上に於て全道下の句歌留多大曾を開催すと三人一組にて曾費一圓賞金五十圓の由

大正11年3月10日 北海タイムス

**札幌かるた曾**

既報、来る十一日午後六時より區内南三條西一丁目觀月庵に於て一聲俱樂部主催の下に春季かるた大曾開催すべく地方選手の申込十數組あり區内料理店各商店よりの寄贈品等多數ありて賞金及副賞品山の如し

大正12年1月5日 北海日日新聞

**全道歌留多大曾開催 萬天樓上にて**

市内北海めざまし新聞社主催の全道かるた大曾は来る十三日午後七時より旗亭丸天萬世樓上で開催される由既に申込チームは北見の北天を初め三十餘組あり第一回優勝旗争奪戦には優勝旗花束賞牌の外市内各商店より寄贈の副賞澤山あり外に福引の餘興もある由にて前景氣盛なりと

大正12年1月13日 北海タイムス

**小樽歌留多曾**

既報小樽革新俱樂部内（南友俱樂部）主催のかるた大曾は来る十三日のところ都合上十四日に變更する由

大正12年1月14日 北海日日新聞

**美瑛かるた曾 豊島旅館に於いて**

本日午後五時美瑛停車場前豊島旅館に於いて有明俱樂部主催のかるた大曾を開催するが三人一組にて地方選手の出場を歡迎すると

大正12年1月20日 旭川新聞

**美瑛かるた曾**

有明曾主催の上川かるた大曾は十四日午後九時美瑛駅前豊島旅館に於いて開催椿曾長の挨拶あり直に豫選に入りたるが出場チームは二十組で地方選手は旭川芙蓉外三組名寄一組地元天山外五組二流地元六組旭川土別各一組で席上火鉢を散らしての接選の結果天山主催の旨を似て隼、芙蓉に一〇を榆し遂に一流一等名寄隼二等旭川芙蓉三等美瑛天山二流一等幾澤二等有明三等旭光の順となり翌午前十時半投了引續き賞品の授與をなして散曾したが入場者四百名近來の盛況を呈したと

大正12年1月21日 北海日日新聞

**金山下句歌留多大曾 十七日開催**

金山暁雲、不二俱樂部主催下の句かるた大曾は去る十七日午後六時より富士曾社俱樂部に於て開催したが當日は下富良野、山部、下金山、鹿越、幾寅、落合、新得其他の地方よりも多數の選手出場し盛曾を極めた

大正12年1月23日 北海タイムス

**室蘭歌留多曾**

室蘭歌留多俱樂部主催にて来る二月三日室蘭山城屋旅館に於て歌留多大曾を催す各方面より多數選手の参加申込もあり盛況を呈すべし

大正12年1月25日 北海タイムス

**岩見澤歌留多曾**

梅ヶ枝俱樂部主催第十九回全道歌留多大曾は二月三日午後八時より同町吟月亭に開催の筈にて出場團體五十組以上に達する見込にて幹部は其準備に忙殺されつゝありと因に五人一組團體競技にして曾費一人一圓なりと

大正12年1月31日 北海タイムス

**少年歌留多曾**

二月三日午後五時半より海風主催初戀後援の下に南〇條西八丁目勝巳屋に於て札幌少年歌留多大曾を開催する由、一流と認めたるものは絶對参加を許さずと尚當日は種々の情實に囚はれず時間励行すべく曾費一人五十錢四人一組なり

大正12年2月1日 北海タイムス

**目名かるた曾**

目名歌留多俱樂部にては二月一日午後五時より同地小林宅に於て開催すべく同好者雷組ツバメ組飛行機組乙女組光組有明大和組等で参加十五組に上るべく市街各商店の寄贈品も多く後援者は小林青年曾長藤田金一澤田末吉豆新聞店の諸氏である

大正12年2月3日 北海日日新聞

**稚内町の歌留多大曾**

稚内驛鐵道従業員主催に係る下の句歌留多大曾は来る三日午後五時より旗亭ことぶき二階大廣間に於いて開催さるべき宗谷支廳、築港、郵便局側の猛者連も出場遠く沿線名寄、士別方面へも夫々案内状を發したる由なれば數十餘組にのぼるべく月桂冠は果たして何れの組の手ににぎらるゝや蓋し當夜は異例の壯觀を極めるであらう

大正12年2月8日 北海日日新聞

**稚内の歌留多大曾 スター俱樂部主催**

既報の如く稚内鐵道現業員より成るスター俱樂部主催の下の句大曾は三日午後六時より雲井旅館に於いて開催された参加チーム三十餘組を算し遠く名寄、音威子府方面の鐵道沿線各町村を網羅したる猛者連にして定時二手に分れ第一回豫選を舉行翌午前一時より第二回優勝戦に入つたが相互緊張の氣分漲りしも其の指端閃光目にもとまらぬ光景を呈し斯くて同八時愈最後の決勝戦に移りスター主催彗星(名寄)若葉(濱頓別)等は当日の覇をにぎるべくよく奮戦努力したるも主催側の處置の誤點より遺憾ながら遂に午後四時中止の止むなきに至つた

大正12年2月14日 北海タイムス

**小樽かるた曾**

来る十七日午後四時より同業者北門日報社後援の下に第四回全道上の句歌留多大曾を小樽市役所通説教所に於て舉行すると

大正12年2月18日 北海タイムス

**札幌下の句大曾**

既報初戀俱樂部主催の全札幌下の句歌留多大曾は愈々来る廿日午後五時半から師範前丸杉料理店に於て開催するが當日の臨時参加は斷る筈だから出場者は此際至急申込んで貰いたいと尚優勝組には本社メタルを贈呈する筈

大正12年3月10日 北海タイムス

**江別歌留多曾**

江別美吉野俱樂部は来る三日土曜日午後七時より同町常盤料理店に於て賞金六十圓を掛け第一回歌留多大曾を開催すと

大正12年3月16日 北海タイムス

**岩見澤歌留多曾**

岩見澤町スター俱樂部主催梅ヶ枝俱樂部後援第一回カルタ大曾は十七日午後八時より同町島林旅館に開催の筈にて曾費一名一圓三人團體申込は停車場前島林旅館スター俱樂部宛なりと

大正13年1月14日 旭川新聞

**歌留多曾**

十四日午後から美瑛新榮亭で有明曾後援でかるた大曾を催し一組三名曾費三圓であると  
(鈴蘭俱樂部)

十五日午後六時浅茅野驛前の浅茅野館で宗谷猿拂かるた大曾を開催三人一組中頓別鬼士別間  
在住に限ると (主催初芽俱樂部)

大正13年1月17日 北海タイムス

**江別歌留多戰**

江別長美吉野俱樂部主催の全道下ノ句歌留多大曾は三人一組曾費三圓で來る十九日午後六時  
から同町常盤で開催の筈

大正13年1月19日 北海タイムス

**瀧川少年歌留多曾**

十五日午後六時より瀧川町停車場通り鈴木辰之進方に於て朝日俱樂部主催二十歳以下の少年  
かるた大曾を開催したるが五十餘名の参加曾員ある翌朝に至りて勝敗定まりたる一等潮二等  
共和三等瀧川四等朝日A五等朝日 と決す

大正13年1月20日 北海タイムス

**全道歌留多曾**

札幌革新俱樂部主催、金鶴俱樂部後援の第一回全道下の句かるた大曾は來る二月九日 (土曜日)  
午後七時から札幌薄野大平館樓上で開催の筈であるが曾費一人一圓五人一組瓣當付き賞  
品は一等から五等迄正金及び副賞を呈すると尚申込は來る二月五日迄に到着するやう札幌北  
一條西三札幌市印刷株式会社革新俱樂部宛にされたいと

大正13年1月25日 北海タイムス

**少年かるた大曾**

札幌双葉俱樂部主催の札幌少年かるた大曾は明二十六日午後八時から市内太平館で開催の筈  
であるが多數出場を希望すると因に四人一組、曾費一人六十錢 (瓣當附) の由

大正13年2月8日 旭川新聞

**下川歌留多曾**

名寄線下川村ドラゴン俱樂部主催となり八日午後八時より同村市街地旗亭杉山方にて第五回

全道歌留多大曾を開催すべきが名寄線宗谷線内は勿論遠く旭川札幌方面よりも参曾者多數であると

大正13年2月10日 北海タイムス

**小樽歌留多曾**

小樽幸曾にては今十日午後七時より同市内花園町大通大關に於て全道下の句歌留多大曾を催すと五人一組曾費一人一圓（瓣當附）にして優勝組には賞金七十圓外に副賞澤山同好諸氏の多數來曾を望むと猶申込所は同市内稻穂町龍宮通丸中花屋方

大正13年2月14日 北海タイムス

**少年かるた曾**

札幌清風俱樂部主催の最終少年かるた大曾は来る十六日午後七時から南七條西九丁目はやし家で開催の筈であるが四人一組、曾費一人當り五十錢、最終歌留多曾でもあり同好者各位の出場を望むと

大正13年2月19日 北海タイムス

**軽川かるた曾**

軽川鬼福曾の主催に係る軽川下の句歌留多大曾は十六日光風館で開催したが出場組札幌四組琴似二組、軽川三組、錢函一組計十組で決勝の結果札幌貫組が優勝した

○ 大正13年2月24日 北海タイムス

**札幌かるた大曾**

札幌天龍俱樂部主催かるた大曾は来る三月一日午後六時より市内北二條東一丁目於福堂（電車通）にて開催する筈である因に一等より五等まで賞を呈す尚五人組一人に付曾費四十錢多數出場を希望す

**小樽歌留多曾**

小樽白銀俱樂部主催の下に来る一日午後七時より市内花園町八千代館前たこよしに於て全道下の句かるた大曾を催すが五人一組で曾費は一人七十錢（瓣當付）とし優勝者には賞金の外副賞ある由で参加希望者は石山町一一石井敬次宛申込たしと

大正13年2月26日 北海タイムス

**少年かるた曾**

札幌ライオン俱樂部主催の少年かるた大曾は来る三月一日午後六時から南一條西十二丁目梅の家で開催の筈であるが四人一組一人當り曾費五十錢各同好者の出場を希望すと

○ 大正13年2月29日 北海タイムス

**札幌かるた曾**

札幌鐵道局の歌留多部主催で三月一日午後七時から北四西五の札幌バーブ官廳下の句歌留多曾を開催する由であるが曾費は四人一組三圓である

大正13年3月1日 北海タイムス

**かるた戦**

札幌ライオン俱樂部主催の少年かるた大曾は愈々本日午後七時から南一條西十二丁目梅の家で開催すと四人一組曾費一人當り五十錢選手の出場を希望の由▲小樽市天風俱樂部主催の下に来る三月八日同市内花園町矢野俱樂部に於て全道下の句カルタ大曾が開催されるが曾費一人前五十錢で五人一組である尚申込所は富岡町日本アスフルト宛

▲札幌かるた大曾は本日午後六時より北二條東一丁目（電車通）竹原於福堂に於て開催五人一組とし曾費は一人四十錢選手は奮つて來曾して下さい尚混成もないと

大正13年3月5日 北海タイムス

**野付牛歌留多曾**

野付牛北天俱樂部主催本社支局後援の北見歌留多大曾は一日午後六時より丸丹肉店樓上大廣間に於て開催した参加團體は釧路白妙、留辺蕊昇天、網走寒菊の外置戸、美幌、端野、上常呂、野付牛等二十九組にして一流一等は網走寒菊、二等野付牛一力、三等釧路白妙なりし

大正14年1月14日 北海タイムス

**全道かるた大曾**

札幌革新俱樂部主催の全道かるた大曾は来る二月七日午後七時半から南五條西三丁目太平館樓上で開催す五人一組曾費一人一圓宛賞金百圓出場者は二月五日迄札幌印刷株式會社内同俱樂部宛申込まれたい由

大正14年1月20日 北海タイムス

**美唄下の句歌留多戦** 一等は札幌

空知郡美唄實業、月形八千代俱樂部主催の下に三人一組下の句歌留多大曾は十七日午後十時美唄市街地東亭で開催された参加チームは

美唄炭山（ゲンコツ光Y A瓢）瀧川（流星）夕張（初音）歌志内（モツキリ）奔別（爆發の爆、發）札幌（札鐵）深川（北陽）同（三色連天）札幌（回天）江別（躍進）旭川（革新）幌内（千早の月、雪、花）月形（八千代の花、蜜、月）美唄（實業の龍、虎、雷、女郎花）の素晴らしい各組にて定刻徳田美唄實業俱樂部會長開曾の辭を述べ次で小鹽月形八千代俱樂部會長の競技に關する注意ありて第一二回戦の抽籤を行ひ豫選は二敗棄権決勝は一敗棄権と定め各参加チームは腕を撫し赤白の鉢巻に必死奮闘の結果十八日午前四時に決勝戦に入り各選手妙技振りに觀衆をして終始手に汗を握らしめ斯して最後の秘術を盡し午後一時榮ある優勝旗及本社寄贈の銀メタルは札幌回天が月桂冠を占むる處となり徳田會長より左記入賞者へ賞金を授與大盛曾裡に散曾した

一等札幌回天（齊藤、澁谷、實中）二等幌内千早の月（川村、田中、中川）三等歌志内丸坂のモツキリ（山本、岡部、和泉）四等夕張初音五等美唄實業の龍（横山、中村、岸山）

**札幌かるた曾**

既報札幌革新俱樂部主催、金鶴俱樂部後援の第二回全道かるた大曾は七日七時半から薄野太平館樓上で開催の筈であるが五人組を三人組に、曾費は一人當り一圓と變更したと尚賞與は一等三十圓、二等二十圓、三等拾圓、四等、五等迄ある由

大正14年1月21日 北海タイムス

**全道歌留多の下句大曾**

全道歌留多下句大曾は二十四日（土曜日）午後六時より札幌市内薄野岡田屋本店に開催する由にて競技方法は五人一組で曾費一圓賞金は一等三十圓二等二十圓三等十圓の外優勝盃及副賞澤山あり参加者には土産物を呈すると、主催者は南三西三北海レビュー社内紅葉俱樂部で北海レビュー社札幌圖案社札幌民間探偵社等應援して居ると

大正14年1月24日 北海タイムス

**深川歌留多曾**

深川町北陽俱樂部主催の下の句歌留多曾は本日午後六時からは江差家で開催の筈であるが昨報した砂川歌留多曾は深川の誤り

大正14年1月28日 北海タイムス

**落部歌留多戦**

既報、茅部山越兩郡争覇下の句歌留多大曾は廿四日午後九時から落部市街旗亭新喜樂で開催した劈頭佐藤芳洋氏開曾を宣し選手と觀衆に注意警告を與へ燈下に仄めく電光石火戦が演ぜられた二回戦天龍対トテシャンで鶴屋を中堅とし遠征の森組慘敗し有明タイガ一猛進は枕を列べて棄権ヨタは僅一枚の差で優勝組に入った翌午前三時から決勝戦に移つたが丸山を中堅佐藤を左翼にした天龍は見事に數組を撫斬りして意氣沖天の氣を吐き港を主將に輪島千歳の副將を隨へ堂々背水の陣を張つた若葉を倒し當日の榮冠を擔ひ午前六時万歳三唱左記結果で閉曾した 一等天龍（八雲）二等若葉（森）三等快走（八雲）四等ヨタ（森）

大正14年2月3日 北海タイムス

**札幌歌留多曾**

既報、札幌革新俱樂部主催、金鶴俱樂部後援の第二回全道歌留多大曾は七日開催の筈であるが曾場を南五西四薄野岡田屋に變更の由

大正14年2月4日 北海タイムス

**全道歌留多會**

札幌光一俱樂部主催全道歌留多大會は来る十四日午後六時より市内南大通西十五丁目丸杉旅館（師範學校停留所前）にて開催せらるべきが四人一組にて曾費一人一圓宛但當日瓣當を饗する由で笹浪雄、宮岡二郎、杉森政吉の諸氏中心となり準備中だが各地方選手の出場を望むと

大正14年2月6日 北海タイムス

**歌留多大會**

来る十四日午後六時より南一條西十五丁目丸杉々森旅館に於て光一俱樂部主催下の句全道歌留多大會開催の由曾費一人一圓四人一組瓣當付にて賞金は一等五十圓二等三十圓三等二十圓以下五等まで賞の外諸店寄贈の副賞澤山あり入曾者は杉森旅館内光一俱樂部宛申込まれたしと

大正14年2月13日 旭川新聞

**全道上句歌留多會** 十四日札幌で催す

第一回全道歌留多會を東京吉野曾札幌支部の主催で十四日午後六時より札幌支部の主催で十四日午後六時より札幌市南四條西五丁目岡田屋本店樓上で催し個人競技優勝者にはカツプを贈呈すると

○ 大正14年2月16日 北海タイムス

**全道上の句歌留多大會** 一等は吉野選手

東京吉野曾主催全道上の句大會は既報の如く一昨夜六時から薄野岡田屋本店にて開催されたが北海道としては始めての催として上の句歌留多宣傳のため舉行されたもので選手三十六名入場者三百名に及び最初の試みとしては大成功で下の口に比して紳士的である點が特筆に値した優勝者は次の如くであるが一等には吉野曾寄贈の優勝盃を授與し以下同曾のメタルを寄贈された（因に一等と二等の差は十七枚だった）一等小林五郎（東京吉野）二等赤井一男（大學ツラヌキ）三等近藤清波（吉野）四等近藤保太郎（吉野）五等外崎布治（無）六等樋口逞夫（大學ツラヌキ） 尚試合に昨日正午にて終り一同岡田屋にて祝賀會を開いた

大正14年2月19日 北海タイムス

**少年かるた曾**

札幌有明俱樂部では来る二十一日午後六時から南四條西九丁目國見屋で少年下句かるた大會を開催すると三人一組曾費一人當り六十錢の由

○ 大正14年2月21日 北海タイムス

**札鐵かるた曾**

札幌鐵道俱樂部主催で二十二日午前十時より札幌鐵道集曾所に於てかるた大會を開くと

**少年歌留多會**

既報札幌有明俱樂部主催少年歌留多大會は本日午後六時より開催の筈なるが曾場は南五條西八丁目東家に變更三人一組曾費一人當り六十錢の由

大正14年2月28日 北海タイムス

**少年歌留多會**

來る三月七日午後七時より豊平町本通り日の出屋に於て東瀬俱樂部主催少年歌留多會を催すと但し四人一組曾費一人六十錢にて賞金賞品澤山有る由奮つて參曾を望むと

大正14年3月11日 北海タイムス

**瀧川歌留多戰**

瀧川フレンド俱樂部主催の歌留多大會は七日午後七時より旭屋に於て開催したるに來曾者は瀧川六深川四富良野二幾春別一新十津川一旭深聯合一都合六組四十五人の猛者連八日午後二時半迄惡戦苦闘の結果一等北陽の燕（瀧川）二等フレンド（瀧川）三等昇天（幾春別）四等一聲（富良野）

大正14年3月18日 北海タイムス

**月形歌留多戦**

権戸郡月形村八千代俱楽部主催の第二回地方歌留多大曾は去る十四日午後七時より當俱楽部に於て開催當日は美唄當別等隣村の強チーム多數参加し地元の意氣又大いに昂り觀衆場内に蝶集して聲援旺なるものあり先づ雲井（當別）實業（美唄）の對抗に開戦の火蓋は切られたるが近來なき激戦を見翌午前十時漸く決戦を告ぐるに至つた當日の優勝チーム左の如くである 一等美唄實業（横山、中村、高田）二等月形八千代（永桶、齋藤、齋藤）三等月形アベコベ（藤田慶、丸山、後藤）

大正14年3月20日 北海タイムス

**紋鼈かるた曾**

去る十四日午後七時より噴火溝に於ける最終のかるた大曾が紋鼈松葉亭に於て開催され小谷氏萬事を世話し九時頃より佳境に入り虻田、壯瞥、伊達、室蘭の各選手は十組に分れ互に鎧を削り翌朝決戦に入りて神風と大和は物凄き激戦をなし結局當日の優勝は神風に歸した二等大和、三等暁星光各々正金にて賞を贈つた

大正15年1月11日 北海タイムス 広告

**上の句かるた素人競技曾**

時日一月十六日一回戦二部ニ分ツ

A午後二時 B五時開始

曾場 札幌市南四西四 岡田屋

曾費三十錢但豫約二十錢葉書ニテ

岡田屋へ申込レタシ

賞品寄贈品出場者へ本曾手拭呈ス

吉野曾選手ハ出場セズ

**主催 北海道 吉野曾**

毎晩六時ヨリ岡田屋ニテ練習アリ

大正15年1月14日 北海タイムス 広告

**上の句かるた素人競技曾**

時日一月十六日一回戦二部ニ分ツ

A午後二時 B五時開始

曾場 札幌市南四西四 岡田屋

曾費三十錢但豫約二十錢葉書ニテ

岡田屋へ申込レタシ

賞品寄贈品出場者へ本曾手拭呈ス

吉野曾選手ハ出場セズ

**主催 北海道 吉野曾**

毎晩六時ヨリ岡田屋ニテ練習アリ

大正15年1月14日 北海タイムス

**下芦別かるた大曾**

下芦別のかるた界は昨年來旭川より一流の選手谷口三原の二君來芦紅俱楽部を組織して以来益々隆盛となり昨年の大曾には多方面の参加チーム優に二十六組を算した實に盛曾を極めしが尚本年は来る十六日一力料理店に於て市内有志後援の下に紅俱楽部主催となり午後六時より華々しく開催すると因に當日は旭川札幌美唄歌志内瀧川深川平岸野花南上芦別富良野山部金山各地よりの遠征軍あるべく其他一般來曾者を觀迎すと

大正15年1月18日 北海タイムス

**全札幌歌留多曾**

来る一月二十三日（土曜）午後六時より白龍俱楽部主催にて美滿壽館筋向ひ金生料理店に於て全札幌歌留多大曾を催す由曾費一人七十錢（瓣當附）四人一組

大正15年1月19日 北海タイムス

**歌留多大接戦**

吉野曾主催札幌上の句歌留多大曾は十六日午後四時半より岡田家樓上に於て開催従來の経験に依ると本道各所では大抵下の句大曾のみ開催され上の句は稍下火になってゐた形があつたが當日は小樽、旭川等よりの出場者もあり競技者六十三名火花を散らす接戦を演じ觀衆場に溢れ翌朝に及んだが入賞者左の如し

一等田島、二等石井、三等島尾、四等伊藤、五等小出、六等高梨、七等横深、八等諷訪因に同曾主催の全北海道上の句大曾は来る二月十一日紀元節をトし札幌市に於て大々的に開催すべしと（寫眞は曾場）

大正15年1月20日 北海タイムス

**火花散る納内の歌留多戦** 一、二等は旭川に

既報、納内巴俱樂部主催の全道下の句歌留多大曾は十六日午後六時より旗亭越中屋樓上で開催した 参加チームの筑紫極光A B、深川北陽、神様、麻雀、燕、岩見澤梅ヶ枝薈、沼田有明新撰組、納内巴曉紅、鐵血、内大部燕の耳、旭川革新A Bの十四組で第一回戦は納内巴の曉と岩見澤梅ヶ枝の薈とに依つて切つて落され燈火に閃く電光石化の戦ひが演ぜられた好個の組合せとて實に素晴らしい接戦で一城々々を破壊し行く双方の激戦は最後の鶴の一聲で止まつたが愈々のラストの決戦に岩見澤の猛將秋山は惜くも納内巴池田の手に破られ立錐の餘地なき程に取囲んだ觀衆に結果は期待された程であった、第二回戦に於ての北陽神様と極光のCとの組合せも實に苦き勝敗であつた第三回戦北陽の神様は旭川革新の為に脆くも破れ第五回戦に至り革新と有明北陽燕と革新Bとの組合せとなり見事な座上肉彈戦の中に第七回戦も終へ翌十七日の曙光の頃旭川革新に一、二等は獲得せられ三等は深川燕四等は沼田有明にて午前七時東海林曾長の挨拶で盛曾裡に閉曾した

大正15年1月23日 北海タイムス

**全札幌かるた曾**

本日午後七時より美満壽館向ひ金生料理店に於て白龍俱樂部主催のかるた大曾を開催す四人一組曾費一人七十錢大いに選手諸君の出場を望む

大正15年1月23日 旭川新聞

**富良野カルタ曾は盛況**

富良野町本紙賣捌平塚新聞店主催富良野歌留多曾は二十三日夜催すが参加者多数で本社からメタルを優勝者に寄贈した

大正15年1月29日 北海タイムス

**美唄かるた曾**

既報、美唄實業俱樂部主催市町村対抗下の句かるた大曾は二十三日美唄町日の出屋に於て盛大に舉行した参加チームは各地より十數組ありて午後十時俱樂部々長開會を宣し直に競技開始各組必死榆贏を競ひ電光石火の戦ひをし翌朝八時頃決勝戦に入り月形八千代A組實業俱樂部電光組の二組は終始優勝他の組は一勝一敗戦より順次優待結果左の通り入賞盛曾裡に午後二時閉曾 ▲一等月形八千代A（藤田佐藤小鹽永桶）▲二等美唄實業電光（横山東海林高田中村水谷）▲三等美唄實業熱血（長尾本江岡上田中込）

大正15年2月3日 北海タイムス

**滻別歌留多戦**

去月三十日午後八時より滻別市街東一條の旗亭氣樂屋に於ける釧勝北第七回歌留多大曾は豫想以上の盛曾にて池田本別足寄置戸野付牛等各方面よりの参加チーム十七を數へ地元のチームと共に白熱的競技を續けたるが一流の決勝は翌三十一日の午前九時半二流は同正午迄かゝり戦而も其間多數の參觀と應援等ありて近來になき緊張したる競技曾なりき決戦の結果は左の通りに本社メタルは二流の刃光組の手に歸し ▼一流一等有明（野付牛）二等北天（同）三等大龍（津別）▼二流一等刃光（池田）二等極光（足寄）三等帝麻C（本別）四等野付牛（野付牛）五等帝麻B（本別）

大正15年2月4日 北海タイムス

**様似歌留多大曾**

期待された日高様似村青少年カルタ大曾は東門俱樂部主催の下に去る三十日午後六時より芝田小助氏宅に開催された當日は吹雪にも拘らず参加チームは青年組の東門外五組、少年組の燕外二組で競技は青年組の東門二葉の接戦を皮切りとして火花を散らして闘ひ翌朝六時決勝戦の結果は左の通り決定夫々賞品を授與された

▲一等（本社銀牌）青年二葉チーム佐々木定吉、新相廣司、西東實▲二等（本社銅牌）同東門▲三等

（同）同ツラ貫▲少年一等（本社銅牌）平和組平川正七郎、笠島唯一、谷垣秀雄▲二等（同）燕

尚當夜の出場者に對し芝田氏より饗應あつたと

大正15年2月6日 北海タイムス

**全道歌留多大曾**

来る十三日（土）午後七時より札幌薄野岡田屋に於て白瀬俱樂部主催廻天俱樂部後援の下に全道歌留多大曾を開催す會費一人一圓四人一組瓣當付賞は正金二百圓優勝旗並に副賞澤山あり選手諸君の出場を望む

**全道下の句大曾**

札幌市闘牌俱樂部にて來る十三日午後八時より南六、西四旗亭たま家にて全道下の句大曾を開催一等より四等まで賞品を與へると副賞としては花輪其他多數あり會費一人一圓（四人一組）瓣當付にて参加希望者は北一條西三文榮堂内闘牌俱樂部に申込まれたいと

大正15年2月10日 北海タイムス

**少年かるた大曾**

来る十日午後六時より南六條西十丁目西向角一力バーに於て銀鈴俱樂部主催札幌少年かるた大曾を開催す四人一組會費一人五十錢瓣當付大いに選手諸君の出場を望む

大正15年2月20日 旭川新聞

**多寄かるた大曾**

來る三十日午後六時より多寄氣樂亭に於て多寄叢雲俱樂部主催で全道下の句かるた大曾を開催する事となり諸般準備中なるが出場希望チームはなるべく早く同俱樂部幹事宛申込みを命ずべしと因に會費は三人一組の三圓であると

大正15年2月21日 北海タイムス

**濱頓かるた曾**

宗谷線濱頓別かるた大曾は市街有志後援の下に去る十五日午後七時より開曾參加組は十數組で激戦の結果一等音威子府幻B組二等同幻A組三等沼川東雲組四等濱頓別陽炎組同電光組浅茅野轟組と決した

大正15年2月24日 北海タイムス

**一巳かるた曾**

雨竜郡一巳村稻穂部落組、一巳堺町組聯合のかるた大曾は去る二十日午後六時より稻穂部落集會場に於て開催されたるが由來此地の讀札は下の句ばかり上の句は迅速を歓くとて下の句頻りに反対の氣勢をあげしが最初は上の句を以て讀初めたが駄目なので止むを得ず下の句を取ることとなり下の句連氣勢益々昂り陣を替、讀手を替、戰闘を重ね閉曾せしは午後十一時半頃

大正15年2月26日 北海タイムス

**鹿追歌留多大曾**

十勝鹿追村紅葉俱樂部主催に係る第一回鹿追下の句歌留多大曾は鹿追本紙賣捌店後援の下に去る二十一日下市街利尻屋に於て開催した参加チーム帶廣賣幕方面にて十チーム主催側代表として段哲夫開曾の辭を宣べ併せて注意を促し午後九時より愈々第二流より開戦するや百名近き觀衆は互に汗を握り應援をなし續いて一流に移り各組奮闘の結果左記の如く決定し本社寄贈のメタルは市街三笠組の手に歸し何れも優勝者には夫々賞品を授與し盛曾裡に翌午前一時閉曾した

一流一等三笠組佐渡、渡邊、伴野二等血染組竹俟、赤間、村中三等龜の露組白木、下野外一名

二流一等有明組西垣、段、丸山、二等樂觀組松山、濱田、小西

大正15年3月10日 旭川新聞

**秩父別カルタ大會**

六日午後七時半より旗亭久の家に於て開催、深川北陽の燕、沼田有明の月、星、千鳥、北龍猛者、恵比島鶴進のA、秩父別極光のA、B、C以上九組、主催側榎本君の挨拶に次いで、極光のC、對有明の月にて戦ひは始まる、十時に至り豫選終りて、北陽の燕、有明の月、星、極光のA、B、Cの組にて決勝戦を始む、各選手の目醒ましき激戦、接戦相次ぎ翌朝八時に至り左の結果を得

一等北陽の燕（石水、松井、岡田）二等有明の星（大橋、瀬田、隅山）三等極光のA（八澤、南、森田）

大正15年3月12日 北海タイムス

**江別歌留多會**

江別町江振俱樂部主催高間新聞店後援の下に十三日午後七時より旗亭胡月に於て全道下の句歌留多大會を開催すべく本年は同俱樂部主催歌留多大會第三回目に當り相當盛大なるべく参加豫想は札幌、余市、小樽、當別、岩見澤、栗山、旭川等にて役員は忙殺されつゝも諸準備完成なし期日を待ち居れり會費は三人一組三圓にて優勝組には優勝旗を呈し尚一等より三等迄は本社メダルを初め澤山の賞品あれば各地選手は奮つて參會ありたしと

○大正15年3月16日 北海タイムス

**江別歌留多會 躍進組優勝す**

江別町江振俱樂部主催の全道下の句大會は十三日午後九時頃旗亭湖月に於て開催抽籤により札幌金箭江別躍進の對戦によつて火蓋は切られたが觀衆場に溢れ聲援頗る盛んにて第一回戦の勝組は幌向稻妻、札幌白瀬、江別蓄、コロン、光、狼、躍進と決し第二回戦に入るかくて最後の決勝戦は金箭對躍進で非常な緊張を見せ觀衆の手に汗を握らせ榮ある優勝旗並に本社寄贈の賞牌は水越、釜仲、志加の躍進組の手に歸した

